

ふわふわしてとっても 温かいよ！

「登米市産業フェスティバル（10/21・22）
～動物ふれあいコーナー～」

NOVEMBER. 2006

11

No.39

主な内容

- 特集「廃食油で市民バスを走らせよう」
- 第1回市民生き生き健康フェスティバル開催
- 地産地消マークが決まりました
- 「登米市農業産出額1日1億円」のキャッチフレーズを募集します
- 市スポーツ&各種入賞情報
- 9町トピックス
- 市民の広場
- 市からのお知らせ・暮らしの情報

廃食油で市民バスを走らせよう



市では、家庭や公共施設から出る廃食油を再利用し、市民バスと市の公用車用燃料として活用する「バイオ・ディーゼル燃料（BDF）推進事業」を実施しています。

この事業は、廃棄物の資源循環によるごみ減量化や、二酸化炭素排出量の削減、安価な燃料を使用することによる市の財政負担軽減など、さまざまな効果が期待されます。

今月号では、新しいエネルギーとして注目されているBDFを活用した取り組みを紹介します。

家庭や公共施設から排出される廃食油をリサイクル

市では、家庭でできる新たなリサイクルの取り組みとして、不要になった廃食油から車用の燃料（バイオ・ディーゼル燃料＝BDF※）を造り、その燃料で市民バスや公用車を走らせる「バイオ・ディーゼル燃料（BDF）推進事業」を10月からスタートしました。この事業は、「登米市環境基本条例」の制定に向けた先行事業の一つです。

これまで、家庭や公共施設（学校給食施設、市立病院など）で捨てられていた廃食油は、ディーゼル車の燃料としてリサイクルすることにより、貴重な資源に生まれ変わります。

今年度は、10月と11月の2カ月間、試験的に市民バス1台と公用車2台に使用。平成19年度から、本格的にBDFの使用を広げていきます。

※ BDF

Bio Diesel Fuel(バイオディーゼルフューエル)の略で、軽油の代わりに使うことができる植物性燃料のこと。家庭で天ぷらや揚げ物をした後の捨てる油を廃食油といい、この廃食油を精製して造られます。今までごみにしていた100%の廃食油から約90%の燃料ができます。

【表1】 今後の回収日、回収場所

	回収日	時間
南方公民館 西郷公民館 東郷公民館	平成18年11月24日(金)	午前7時 ～ 午前8時
	平成18年12月22日(金)	
	平成19年1月19日(金)	
	平成19年2月16日(金)	
	平成19年3月16日(金)	
(株)ウジエ スーパー 南方店 駐車場	平成18年11月25日(土)	午前9時 ～ 午前11時
	平成18年12月23日(土)	
	平成19年1月20日(土)	
	平成19年2月17日(土)	
	平成19年3月17日(土)	
とよま観光物 産センター 「遠山之里」 道の駅みなみ かた「もっこ りの里」	平成18年11月5日(日)	午前10時 ～ 午後3時
	平成18年11月12日(日)	
	平成18年11月19日(日)	
	平成18年11月26日(日)	



家庭から持ち込まれた廃食油を回収用ポリタンクに入れる南方地区の住民(9/22・南方町公民館)

廃食油の回収

廃食油の回収は、試験的な試みとして南方地区の一般家庭を対象に9月からスタートしました。

回収場所も当初は、町内3公民館と(株)ウジエスーパー南方店だけでしたが、ほかの地区からの協力依頼が多く寄せられたこともあり、10月と11月の2カ月間のみ、とよま観光物産センター「遠山之里」と、道の駅みなみかた「もっこりの里」の2カ所を追加。さらに10月からは、市内に住する人であれば、誰でも廃食油を持ち込むことができるようになりました。

本格実施の19年度からは、回収場所を増やしていく予定です。

持ち込みをする場合は、廃食油をペットボトルに入れて、回収場所と時間を守って持参してください【表1】。

地区住民の協力

回収日の初日となった9月22日早朝7時、南方地区の各公民館には、公衆衛生組合や市の関係者らが集合。20リットルのポリタンクを3つ用意し、廃食油を持つてくる人を待っていました。



南方公民館では回収日初日にもかかわらず、たくさんの廃食油が集まりました

地区の人には、事前に回覧やチラシなどで事業の説明や回収日などが周知されていたが、果たして予定した量の廃食油が集まるかどうか、不安がありました。

7時を少し過ぎたころから、ペットボトルが入ったビニール袋を持って歩いてくる人、車から降りて両腕にペットボトルを抱えてやってくる人などが次々に集まってきました。「おはようございます」「ご苦労さまです」とあいさつを交わし、準備していたポリタンクに廃食油を入れる住民。その後も持参する人たちが訪れ、約1時間でポリタンク1つがいっぱいになり、関係者も安心していました。

廃食油を2リットル入りのペットボトルで持参した松本律子さんは「行政区の回覧で回収することを知りました。今までは新聞紙で吸い取って捨てていましたが、燃料に生まれ変わることは大変素晴らしいこと。この活動が市内全域に広

まってももらえればうれしい」と話していました。

南方町峯地区の公衆衛生組合長、鈴木彦一さんは「初日としては上々の集まり具合。これからはもっと宣伝して、回収量を増やしていきたい」と期待を込めて話しました。

さまざまな効果を生み出すBDFを活用することで市内の環境を守る

BDFの活用は、さまざまな効果を生むことが期待されています。

これまで各家庭や公共施設から出る廃食油のほとんどが、「燃やせるごみ」として処理されてきましたが、資源として活用することにより、ごみの

削減につながります。

また、BDFの燃焼による二酸化炭素の排出量は、ゼロ・カウント(※)として取り扱われるため、BDF使用による軽油使用量の削減分が、そのまま二酸化炭素排出量の削減にもつながります。

BDFの活用で、環境保全などの効果が期待される中、わたしたちの生活においてもメリットがあります。

BDFの長所と短所

そのほか、BDFは軽油より安価なため、市の財政負担が軽減されることや、環境保全の普及活動のPRなど、さまざまな効果が生み出されます【表2】。

ならず、BDF燃料100%であれば軽油引取税が課税されないため、燃料費のコスト削減にもつながります。市販のディーゼル車であれば、エンジンの改造などは不要で、運輸局に申請し車検証を書き換えるだけで、BDFが使用できることも特長の一つです。

現在は試験的な段階で、市民バスと市の公用車だけの使

官民一体となったBDFの取り組み 知的障害者施設の利用者が製造作業

BDFで市民バスや市の公用車を走らせるために、企業や団体、社会福祉法人、学校

などが協力し合いながら、官

民一体となって取り組んでいます。回収作業に当初から立ち会っているのは、南方町公衆衛生組合と(株)ウジエスーパー。回収日には、持ち込まれた廃食油をポリタンクに入れる作業や、回収の呼び掛けをしています。さらに10月からは、「遠山之里」と「もつこりの里」の協力ももっています。また、上沼高では生徒らが文化祭の中で廃食油の回収コーナーを設けるなど、BDFへの取り組みや活動が市内で広がりを見せています。集まった廃食油は、知的障害者施設「はんとく苑」(三島照義苑長・米山町)の利用者と職員が回収。製造作業は、

※ゼロカウント

植物起源の燃料のため、燃焼に伴って排出される二酸化炭素は、もともと空気中にあったものが植物により固定されたものであり、京都議定書上の二酸化炭素排出量にはカウントされない。

【表2】 BDF活用による効果

(1) 廃棄物の資源循環によるごみの減量化

これまで、各家庭や公共施設から出た廃食油は、燃やせるごみなどとして処理されてきましたが、資源として活用されることにより、ごみの減量化につながります。

(2) 二酸化炭素排出量の削減

BDF燃焼に伴う二酸化炭素の排出量は、ゼロ・カウントとして扱われるため、軽油の使用量削減分がそのまますべて二酸化炭素排出量の削減としてカウントされます。

(3) 市の財政負担の軽減

市民バスや市の公用車の燃料を、軽油(113円/ℓ)からBDF(80円/ℓ)に替えることで財政負担が軽減されます。 ※軽油単価は平成18年9月現在

(4) 障害者の自立支援

廃食油を回収してBDFを製造する作業は、知的障害者施設「はんとく苑」(米山町)の利用者が行っており、障害者の就業と自立が期待されます。

(5) 市民との協働

廃食油の回収は、みやぎ登米農業協同組合、公衆衛生組合、(株)ウジエスーパーなど、各種団体や地元企業の協力を得て、市民と行政が力を合わせて実施するため、市民との協働による環境施策が実践できます。

(6) 身近な環境保全活動の推進

日常生活の中で環境保全活動を実践することができます。また、子どもたちに興味を持ってもらうことで、家庭内での環境教育にもつながります。

(7) 環境保全の普及啓発

市民がBDF市民バスに乗車したり、市内を走るBDF市民バスを見たりすることで、子どもから大人まで資源循環の効果を実感し、環境保全活動の普及につながります。

- ①特設コーナーを店頭で設置して廃食油を回収する(株)ウジエスーパー南方店
- ②市民バスや公用車に取り付けられた佐沼高美術部員がデザインしたBDFシンボルマーク
- ③はんとく給油所 (旧みやぎ登米農協浅水給油所)
- ④1回の稼動で80~90%が製造されるBDF製造装置
- ⑤⑥はんとく給油所で作業に当たるはんとく苑利用者と職員



みやぎ登米農協の協力で、閉鎖した中田町にある旧浅水給油所(はんとく給油所)に、製造機器を設置して行っています。

ここで製造されたBDFは、1リットルあたり80円で市が購入して、はんとく給油所で市民バスと公用車に給油します。

市民バスは、市が事業を委託している宮交登米バス(株)が所有。市民バスと公用車には、佐沼高美術部員がデザインした、天ぶらのキャラクターがシンボルマークとして描かれたマグネット式のシートを取り付けています。

これにより、BDFで走っている車であることが、一目で分かるようになっていきます。

心を込めて製造作業

BDFの製造を担当している「はんとく苑」は、これまで

で、パンの製造やサクランボ、シイタケを栽培して販売するほか、ソニー宮城(株)豊里事業所の下請け作業をするなど、障害者の就業活動を積極的に行ってきました。

苑は市が回収した廃食油を1リットルあたり0・5円で購入し、利用者の5人と職員が平日の午前8時30分から午後5時30分まで製造作業に当たります。

製造過程は、回収した廃食油をドラム缶に入れて約24時間沈殿させ、目の細かい網を使って廃食油から天カスなどの不純物を取り除きます。

その後、専用のBDF製造装置に廃食油(1回100リットル)と、メタノールや苛性ソーダなどの薬剤、60℃のお湯を入れ、BDFと排出物に分解。約6時間かけて100℃以上の温度で水分を飛ばすと、BDFが完成します。

1回で出来る量は80~90リットル。この作業を1日に2回繰り返し、約180リットルのBDFが完成します。

このほか、分解の過程で出る排出物は、固形せっけんや洗剤にも再利用でき、廃食油のほとんどが新たな資源として生まれ変わります。

作業を指導する苑職員の小野寺正志(まさし)さん(米山町)は「苑利用者には、不純物を除去する作業や給油所全体の清掃をしてもらっています。製造が追いつかないくらいに忙しい毎日ですが、何とか予定の量は製造しています」と話します。

三島苑長は「作業をスムーズに行うため、市民皆さんにはできるだけ天カスなどの不純物を取り除いて、廃食油を出してもらえると助かります」と話していました。



体験乗車した市民を乗せて出発するBDF市民バス（10/2・市役所迫庁舎前）

■ Interview ■

主婦

星 久美子さん（南方町・吾下）

今まで廃食油は、固形剤などで固めて燃やせるごみに出していました。各家庭に回収用の専用ボトルを準備してもらおうと便利ですし、各行政区の集会所などで回収できれば、持ち込むのが簡単になり、回収量も増えると思います。



はんとく苑利用者

菅原 重夫さん（東和町・米川第6区）

BDFの製造作業は疲れませんが、まだ慣れていないので毎日が大変です。今は造ることに魅力を感じています。これからもっと回収される廃食油が増え、わたしたちが造ったBDFで市内を走るバスや車が増えてもらえればうれしいです。



登米市公衆衛生組合連合会会長

蛭名 茂喜さん（南方町・大門）

社会が発展していくにつれて、環境問題が大変重要になります。BDF推進事業は、組合と行政の考え方が一致して共にスタートしました。この取り組みで、環境問題が少しでも改善され、いつまでも自然豊かな登米市であってほしいです。



BDF使用の市民バスが運行開始 市民皆さんの協力で新たな資源を

BDFを使用した市民バス
出発式が10月2日、市役所迫
庁舎前で行われ、市民や関係
者、職員ら約200人が参加
しました。

布施市長は「この事業は市
民皆さんの協力をいただきな
がら進めています。市にとつ
て大きな成果になることを期
待したい」とあいさつ。関係
者によるテープカットのセレ
モニーが行われました。

その後、市民バスは体験乗
車の市民を乗せて市役所前を
出発。会場に詰め掛けた人た
ちから、大きな歓声と拍手が

沸き起こりました。

この日からBDFを使用し
た市民バスの運行がスタート
しました。

主役は市民皆さんです

官民一体となつて取り組み
をスタートさせたBDF推進
事業。この事業により、地球
温暖化対策や市内の環境保全、
市民との協働など、さまざま
な効果をもたらすことに大き
な期待が込められています。

この事業の主役は市民皆さ
ん一人一人です。

これまで、各家庭で捨てら



BDF市民バス出発式での関係者によるテープカット

れていた廃食油を少しでも提
供してもらえれば、それが貴
重な資源に生まれ変わり、何
十年、何百年先まで登米市の
恵み豊かな自然が受け継がれ
ていくことになるでしょう。

【BDFに関する問い合わせ】

市民生活部環境課
☎ 0220（58） 5553

11/18(土)日

午前9時30分～
登米総合体育館「とよま蔵ジウム」

健全な食生活は豊かな人間性を育てる

いのちを育む「食とこころ」

第1回

市民活き生き健康フェスティバル

■ ステージ発表

- ▶ 食育・子育て・環境・防災関係の実践発表（9:40～10:20）
- ▶ 元気がでる講演会（10:30～12:10）
講師：志村尚一さん
歌と踊り：劇団「ぜんとようようくらぶ」
『一人一人のキラめきから元気あふれる「健康登米市」』

■ 展示・体験の部

【食育】

- ▶ 体験コーナー（12:00～13:00）
○はっかつみチャレンジ ○おにぎりニギニギ
- ▶ 試食コーナー（12:10～13:10）
○ニラはっつ、栄養満点おにぎり
- ▶ 地域食材の紹介・販売コーナー（10:00～15:00）
- ▶ 展示コーナー（10:00～15:00）

【健康】

- ▶ いきいき体操（13:10～13:50）
- ▶ 「やる気、元気、いきいき登米事業」の紹介、国保連合会コーナー、
歯科関係、健康パネル展コーナー、検診団体展示コーナー、がん予防展
示コーナー、とよま健康コーナー（10:00～15:00）

【福祉】

- ▶ 日赤・民生委員コーナー、福祉コーナー、地域福祉活動紹介コーナー、
福祉作業所コーナー、小規模作業所コーナー（10:00～15:00）

【介護】

- ▶ 介護コーナー（10:00～15:00）

【市民】

- ▶ 人権擁護・更生保護・保護司会コーナー、防犯・交通安全コーナー
（10:00～15:00）

【環境】

- ▶ 公衛連コーナー、ハイブリット車コーナー、地球温暖化対策コーナー、
環境（ごみ分別促進・資源化）コーナー（10:00～15:00）、廃食油回収
（10:00～14:00）

■ 交流・体験の部

- ▶ みやぎ福祉機器体験フェア、親子あそびの広場、救急救命コーナー、
衝撃体験車、抽選会（10:00～15:00）

■ 献血事業

- ▶ 献血（受付14:00～）

【問い合わせ】 市民生活部健康推進課
☎0220 (58) 2116

地産地消の マークが決定

登米市の地産地消を進めていくためのシンボルマークを募集したところ、市内外から23点の応募がありました。応募された作品を10月25日、市内の農業協同組合や農業委員会、教育委員会、商工会、県などで構成する登米市地産地消推進本部（本部長・布施

孝尚登米市長）で選考した結果、採用作品が決定しました。採用されたのは名取市の山田直人^{なほと}さんの作品。登米市の「と」をモチーフに、消費者と生産者、各分野の皆さんが手をつなぎ、地場農産物をつくりながら地産地消を明るく元気に進めていくデザインとなつていきます。

地産地消マークに採用された山田さんには、3万円相当の地域特産品が贈られます。

また、優秀賞に選考された石越町の高橋洋伸^{ひろのぶ}さんには、1万円相当の地域特産品、佳作に選考された登米町の後藤恵美^{えみ}さんと石越町の千葉代美^{よしみ}さんには、それぞれ5千円相当の地域特産品が贈られます。

最先端技術や地場産品に技術あり

登米市産業フェスティバル

登米市内の産業を市内内外の人や企業に紹介するとともに、企業間のコミュニケーションに役立ててもらおうと、第2回登米市産業フェスティバルが10月21、22日の2日間、迫体育館、迫公民館、中江中央公園で開催されました。

技術を駆使した製品などを紹介。中でも、(株)登米村田製作所が開発・製作した「自転車に乗るロボット」は、2日間で8回実演され、毎回大勢の見物客が集まりました。

また、公園内では、市内産農林畜産物や加工品などの展示販売、米粉ピザ作り体験などのさまざまな展示・体験コーナーも設けられ、長蛇の列となっていました。そのほか、ウサギやアイガモなどに触れ合える動物ふれあいコーナーでは、多くの家族連れでにぎわいました。訪れた人たちは、登米市内企業の最先端技術に感心したり、お目当ての商品を買い求めたりして、「登米市のもつぐくり」を楽しんだ2日間となりました。



①大勢の人が集まった「自転車に乗るロボット」コーナー②親子連れでにぎわった米粉ピザ作り体験③試飲で地酒の味や香りを楽しみました④林業コーナーでは子どもたちが手作り輪投げに挑戦しました⑤馬券ならぬ「カモ券」で1着のアイガモを予想した「アイガモカップ」

キャッチフレーズを募集します！

登米市農業産出額 1 日 1 億円

- **募集目的** 市では農業を基幹産業として位置付け、平成27年度の農業産出額(※)の目標を365億円に設定し、「農業産出額 1 日 1 億円」を目指した農業振興のキャッチフレーズを募集します。
- **募集するキャッチフレーズ**
 - 「農業産出額 1 日 1 億円」を進め、農業所得の向上にふさわしいキャッチフレーズであること。
 - 文字スタイルは自由とする。
 - ほかの商標などと類似しないこと。
 - 自作の未発表作品であること。
- **応募資格** 登米市内に住所を有し、現に居住している人。
- **応募方法**
 - 一人何点でも応募可能で応募用紙は自由（はがきでも可）。
 - キャッチフレーズのほか、「郵便番号」、「住所」、「氏名（ふりがな）」、「年齢」、「性別」、「電話番号」を記載すること。
 - はがき、封書による郵送、Eメール、直接持参する場合は農村戦略推進会議室（中田庁舎内）または各総合支所地域生活課産業建設係へ提出願います。
- **応募期間** 平成18年11月1日（水）～11月30日（木）
- **選考方法** 応募された作品の中から候補4点を選考します。
- **賞品** 市内の道の駅と農産物直売所などで使用できる共通商品券とします。
 - 最優秀賞（採用作品） 1点 3万円相当
 - 優秀賞（候補作品） 1点 1万円相当
 - 佳作（候補作品） 2点 5千円相当
- **その他**
 - 応募作品は返却しません。
 - 採用された作品を著しく損なわない範囲で修正する場合があります。
 - 採用作品に関する一切の権限は、登米市に帰属します。
- **応募先・問い合わせ** 登米市農村戦略推進会議室
〒987-0602 登米市中田町上沼字西桜場18番地
☎ 0220 (34) 2491 Eメール nousonsenryaku@city.tome.miyagi.jp

※農業産出額
登米市内で生産された品目ごとの生産数量に、取引価格（農家庭先価格）を乗じて求めた金額

区分	変更前 (食費のみ)	変更後
① 一般の人 現役並み所得者で保険医療機関に入院している人 上記以外の人で保険医療機関に入院している人	1食につき 260円	(食費) 1食につき460円 (居住費) 1日につき320円 (食費) 1食につき420円 (居住費) 1日につき320円
② 市町村民税非課税の世帯に属する人(③、④以外の人)	1食につき 210円 (過去1年間の入院日数が90日超の場合160円)	(食費) 1食につき210円 (居住費) 1日につき320円
③ ②のうち、所得が一定の基準に満たない人(④以外の人)	1食につき 100円	(食費) 1食につき130円 (居住費) 1日につき320円
④ ②のうち、高齢福祉年金を受給している人		(食費) 1食につき100円 (居住費) 1日につき0円

※上記の②から④までに該当する人は、市が発行する減額認定証を被保険者証などに添えて、医療機関の窓口提出すれば減額が受けられます。

【問い合わせ】
市民生活部保険医療課医療係
☎ 0220 (58) 2166

(※) 現役並み所得者となる基準

- 課税所得 145万円以上（月収28万円以上）
- 収入
 - 高齢者複数世帯 520万円以上
 - 高齢者単身世帯 383万円以上

平成18年10月1日から、健康保険法などの改正により、現役並みに所得がある(※)70歳以上の高齢者が窓口で負担する割合が、これまでの2割から3割に変わりました。また、療養病床に入院する70歳以上の老人（65歳以上の老人）

人医療受給対象者を含む)の食費の負担額が変わるとともに、新たに居住費(光熱水費)が自己負担となりました。ただし、難病などで入院医療の必要性が高い人の負担額は、居住費の負担がなく、変更前の額に据え置かれます。

**患者さんの負担額が
変わりました**
 健康保険法などの改正により10月1日から

全国広報コンクール表彰式〜岡山県倉敷市

登米市発行の「広報とめ」
広報紙市部で2席を受賞

自治体の広報紙などを対象とした平成18年全国広報コンクール（日本広報協会主催、内閣府・総務省・読売新聞社後援）の表彰式と、第43回広報広聴研究大会が9月28、29日、岡山県倉敷市の倉敷チボリ公園「アンテルセンホール」で行われました。

映像、広報企画の部門で受賞した団体や広報功労者の個人、団体が参加しました。

登米市が発行した「広報とめ17年12月号」は広報紙（市部）で3位に当たる2席を受賞。作品はA4判44ページの「九つがひとつ」では、旧町域でそれぞれ力を注いできた農業や教育、祭りなどが、合併でより大きな力になったことを「人」をキーワードに紹介しました。

市では、9町による合併で情報量が多くなったことや、市民皆さんに最新の情報を伝えるため、広報紙を毎月1日と21日の2回発行しています。

広報編集委員の会議や、各総合支所の広報担当者会議も開催しています。

広報紙は、市民皆さんからの情報があつて作ることができま。皆さんには忙しいにもかかわらず、快く取材に応じていただいたり、原稿や情報を寄せてくださったりするなど、とても感謝しています。今後も市民皆さんから親しまれ、読んでいただける広報紙作りに努めていきます。



広報紙市部2席を受賞した「広報とめ17年12月号」

掲載記事の協議や前月号の反省などを話し合うため、各担当部署から推薦された



毎月の掲載内容などを協議する広報編集委員会

独自の商品を
製作して販売

東和中で起業教育プレゼン



価格設定や販売方法などの検討を重ねました

6月から始まった起業教育の第2回プレゼンテーションが9月21日、東和中で行われました。

同中は平成17年度から、地域社会と学校が協働して豊かな職業観を持った子どもの育



班ごとに考えた商品进行评估し合う生徒たち

成をねらいとする起業教育の指定を受け、18年度から総合的な学習の時間を利用し、週2回その実践に取り組んでいます。

これまで、東和地区で創作・販売活動を実践している起業家や食品会社の代表から、商品開発などの参考となる話を聞いた。陶芸や木工、手芸などの試作品を作成したりしてきました。

この日は、今まで学習してきた内容や商品の中間発表を行い、お互いの商品の評価や完成度、価格の設定など、本当に売れる商品なのかどうかの検討をしました。

これらの商品は、11月3日に行われる「東和の秋まつり」で販売する予定です。

地元の食材で 秋の実り満喫

新米試食会



思い思いにおいしかった米をおかわりしました

新米試食会（市農業振興協議会主催）が10月11日、宝江ふれあいセンターで催され、農業関係者ら約70人が参加しました。

試食に出された米は、みやぎ登米農協管内で生産された



市内産の食材で参加者のはしが進んだ試食会

ササニシキ、ひとめぼれ、まなむすめの環境保全米と、秋田県大潟村産あきたこまち、新潟県南魚沼産コシヒカリの5種類。地元の野菜を使った煮物やサラダなどのおかずも振る舞われました。

市長は「登米市のおいしい環境保全米を、これまで以上に知恵を出し合い、全国的に広めていきたい」とあいさつ。参加者は、香りと食感を楽しみながら新米を味わいました。

参加者には、事前に品種は伝えておらず、食後においていと思つた米に順番を付けるアンケートを実施。全5種類のうち、1番人気はササニシキ、次いでひとめぼれと、市内産の米をおいしいと答えた人が多い結果となりました。

歩行者の立場で道路を点検

東和地区で交通安全総点検

歩行者の立場で道路を歩き、交通環境の現状把握や問題点を確認し合う、「交通安全総点検」（国土交通省、県、市主催）が10月5日、米谷公民館とその周辺道路で行われました。

点検には、小中学生や高校生、老人クラブ・交通安全団体員、学校・道路占用户関係者ら約70人が参加。2つのグループに分かれて、米谷地区の中心部を約1キロずつ歩き、歩道の段差や破損などを確認する路線点検と、標識や横断歩道を点検する箇所点検を行いました。



段差がある歩道を実際に車いすに乗って点検する参加者

調査では普段、車や自転車で行く道でも実際に歩いてみると、歩道が急に狭くなったり段差があったりして、歩行者には歩きにくい場所があることが判明。段差がある箇所では、実際に車いすに乗って点検も行いました。

参加者は、それぞれ点検シートに問題のある場所を



点検結果を取りまとめ改善策などを話し合いました

記入、チェックし確認の写真を撮影。その後、米谷公民館に戻り、グループミーティングで点検結果を取りまとめ、代表者が発表しました。

点検に参加した佐藤ひろみさんと白岩璃沙さん（ともに米谷小6年）は、「普段通る道なのに、調査をしてみたら歩きにくい場所や壊れているガードレールがありました。子どもからお年寄りまで歩きやすい道路になってもらえればうれしいです」と話していました。

圧巻！ジャンボのり巻き

佐沼秋のフリーマーケット

第10回佐沼秋のフリーマーケット(佐沼中央商店会主催)が10月15日、中江中央公園で行われました。

この催しは、公園や市役所周辺の駐車場などを会場に利用するため、広大な販売エリアが特徴で、今年は約650店が出店。地元商店会から飲食関係の出店もあり、東北最大級の規模を誇るフリーマーケットとして有名です。

各ブースでは、衣類や雑貨、各種グッズなど、さまざまな商品が販売され、掘り出し物やお宝品を目当てに訪れた人たちで込み合いました。ステージでは、佐沼小・佐沼中吹奏楽部による演奏会や、地元迫町出身の歌手、柳ジュンさんの歌謡ショーなどのイベントを開催。また、市消防本部の協力で、レスキュー・消火体験や防災ヘリコプターを使った市役所屋上からの救出訓練などの防災フェアも催されました。

この催しの最大の目玉は、家族連れなど約250人が参加した「ジャンボのり巻き100mに挑戦」(上)フリーマーケットの各ブースは掘り出し物やお宝品を探しに来る人たちにぎわいました(中)子どもたちに人気だったレスキュー体験(下)



約250人の家族連れなどが挑戦した「ジャンボのり巻き100mに挑戦」(上)フリーマーケットの各ブースは掘り出し物やお宝品を探しに来る人たちにぎわいました(中)子どもたちに人気だったレスキュー体験(下)

中学生が非行防止に一役

登米警察署で4T隊発隊式

中学生ボランティア4T隊の発隊式が10月14日、登米警察署で開催され、隊員の中学生や関係者ら約40人が参加しました。

4T隊とは、登米署管内の登米、東和、豊里、津山のA



各学校の隊員に委嘱状が交付されました

ルファベットの頭文字「T」を取ったもの。4地区の中学校から選出された隊員14人が、それぞれの活動目標を設定し、学校において非行防止や青少年健全育成活動を進める内容となっております。

式では、土井^{かずよし}巧署長が「隊員に選ばれた皆さんには、各学校で非行防止活動を広めてもらい、安全で安心な地域づくり協力してほしい」とあいさつ。隊員一人一人に委嘱状を交付しました。

その後、参加者は遠山之里と(株)ウジエスパー登米店の2カ所に分かれ、パンジーの苗やティッシュなどを来店者に配りながら、子どもたちを見守ってほしいと呼び掛けました。



遠山之里で来店者に花苗を手渡す中学生隊員

市を挙げてのスポーツ祭典

市スポーツまつり



フラッグフットは鬼ごっこ感覚で楽しめました

第1回登米市スポーツまつり（同実行委員会主催）が10月15日、中田総合体育館と周辺体育施設で開催されました。スポーツに関心を深めてもらい、参加者の交流を目的に開催したもので、小学生を対象



体力運動能力調査で長座体前屈測定をする参加者

としたチャレンジスポーツラリーやニュースポーツ体験、大人を対象とした体力運動能力調査、中高年のための運動教室などが行われました。

チャレンジスポーツラリーでは、バレーボール、バスケットボール、野球、フラッグフットの4種目に元日本代表選手を講師に迎え、1人3種目に挑戦。フラッグフットを体験した小学生は「鬼ごっこのように相手を捕まえるところがおもしろかった」と話していました。

体力運動能力調査では、成年と高齢者に分かれ、握力や反復横跳びなどを測定。日ごろあまり運動しない人にはきつかったようですが、気持ちのいい汗を流していました。

水安丸渡海百周年を祝って

カナダバーノン市と姉妹都市締結

市と交流を続けてきたカナダのバーノン市（人口約4万5千人・ブリティッシュコロンビア州）に、布施市長を团长とする訪問団が、10月12日から19日までの8日間にわた

り訪問しました。東和町米川出身の実業家・及川甚三郎（おとしん）が、凶作

などにより困窮の村人を救うため、帆船「水安丸」でカナダに渡航して今年で百年目の節目を迎えた記念と、旧東和町が昭和61年から交流しているバーノン市と新たに教育や文化、産業経済など、幅広い分野で交流し、友好関係を築くための調印が目的です。

この事業は、市

や国際交流協会、

及川甚三郎渡航1

00周年事業実行

委員会が連携して

実現。青少年海外

派遣団員、国際交

流協会派遣団員、

市民ツアー、市関

係者ら90人が参加

しました。

初日の12日はバ

ンクーバー日本総

領事館を表敬訪問

13日は水安丸渡海

100周年祭が催

され、記念碑の除

幕式や記念植樹な

どが行われました。

今回の8日間は、現地の人

また、14日の水安丸渡海100周年記念レセプション、15日のバーノン市民との交流会に、東和町の飯土井神楽保存会が神楽を披露。華麗な舞に大勢の参加者から大きな歓声が上がりました。16日には、バーノン市役所で姉妹都市の調印式が行われ、両市の市長、議会議長、国際交流協会長が協定書にそれぞれ調印しました。



水安丸渡海100周年記念レセプションでは、東和町飯土井神楽保存会が神楽を披露しました

登米市中学校新人総合体育大会

■開催日 9月30日(土)~10月1日(日)

■会場 石越球場ほか

【団体の部】<野球>▶第1位=東和中▶第2位=南方中▶第3位=中田中、佐沼中<ソフトボール男子>▶第1位=中田中<同女子>▶第1位=南方中▶第2位=津山中▶第3位=東和中、豊里中<バレーボール男子>▶第1位=津山中<同女子>▶第1位=東和中▶第2位=中田中▶第3位=南方中、登米中<バスケットボール男子>▶第1位=中田中▶第2位=石越中▶第3位=豊里中<同女子>▶第1位=登米中▶第2位=佐沼中▶第3位=石越中<ソフトテニス男子>▶第1位=東和中▶第2位=中田中▶第3位=南方中、豊里中<同女子>▶第1位=中田中▶第2位=佐沼中▶第3位=米山中、津山中<卓球男子>▶第1位=東和中▶第2位=中田中▶第3位=南方中、豊里中<同女子>▶第1位=中田中<サッカー>▶第1位=南方中▶第2位=登米中▶第3位=佐沼中<バドミントン男子>▶第1位=東和中▶第2位=米山中▶第3位=中田中<同女子>▶第1位=南方中▶第2位=中田中▶第3位=東和中<柔道男子>▶第1位=米山中▶第2位=中田中▶第3位=佐沼中、東和中<同女子>▶第1位=中田中<剣道男子>▶第1位=佐沼中▶第2位=中田中▶第3位=米山中、東和中

【個人の部】<ソフトテニス男子>▶第1位=及川稔也・畠山崇(東和中)▶第2位=鈴木純平・猪又隆(東和中)▶第3位=佐藤拓・石川健太(中田中)、清元健太・千葉直樹(南方中)<同女子>▶第1位=小出麻未・鈴木亜里沙(東和中)▶第2位=工藤綾・三浦朋瑛(中田中)▶第3位=千葉穂波・石川香苗(東和中)、西條明日香・小松みずほ(津山中)<卓球男子S>▶第1位=橘直樹(中田中)▶第2位=菅原博文(中田中)▶第3位=秋山優樹(東和中)、久光史弥(中田中)<同女子>▶第1位=千葉しのぶ(中田中)▶第2位=藤浦瞳(南方中)▶第3位=山田結香(東和中)、千葉静香(中田中)<新体操総合>▶第1位=門脇志麻(南方中)▶第2位=武田美紅(南方中)▶第3位=松崎ひかる(南方中)<同フープ>▶第1位=門脇志麻(南方中)▶第2位=武田美紅(南方中)▶第3位=松崎ひかる(南方中)<同ボール>▶第1位=武田美紅(南方中)▶第2位=門脇志麻(南方中)▶第3位=松崎ひかる(南方中)<バドミントン男子S>▶第1位=吉井崇純(東和中)▶第2位=阿部亮太(東和中)▶第3位=後藤慎(東和中)、小野寺孝文(米山中)<同女子>▶第1位=佐藤美幸(東和中)▶第2位=及川泉(中田中)▶第3位=金谷すみれ(南方中)、岩淵瞳子(東和中)<同男子D>▶第1位=千葉浩弥・及川弘貴(東和中)▶第2位=及川広夢・氏家耕平(東和中)▶第3位=坂東祐二・伊藤光(米山中)、千葉辰吉・遠藤隼人(中田中)<同女子>▶第1位=及川華・松本由香利(南方中)▶第2位=長部咲紀・猪又美沙紀(東和中)▶第3位=松岡沙季・及川真奈美(登米中)、佐藤凜子・嶋くるみ(佐沼中)<柔道男子50kg級>▶第1位=戸田憲一郎(米山中)▶第2位=小野寺昭紀(中田中)▶第3位=千葉拓也(石越中)<同55kg級>▶第1位=千葉司(米山中)▶第2位=氏家悠(米山中)▶第3位=稲邊耕希(石越中)<同60kg級>▶第1位=伊藤千香斗(佐沼中)▶第2位=渡邊一也(中田中)▶第3位=佐藤禎俊(米山中)<同66kg級>▶第1位=及川雅人(米山中)▶第2位=伊邊和輝(佐沼中)▶第3位=水野翔平(米山中)<同73kg級>▶第1位=佐藤基光(米山中)▶第2位=菅原慎矢(豊里中)<同81kg級>▶第1位=岩淵有座(米山中)▶第2位=鹿野健太郎(南方中)▶第3位=青木京介(中田中)<同90kg級>▶第1位=千葉翔(中田中)▶第2位=門田和也(佐沼中)▶第3位=鈴木悠也(米山中)<同90kg 超級>▶第1位=三浦貴史(米山中)▶第2位=高橋宏史(石越中)<同女子52kg以下級>▶第1位=三浦麻衣(中田中)▶第2位=佐々木綾香(南方中)▶第3位=佐々木りん(中田中)<同57kg 超級>▶第1位=佐々木香(佐沼中)▶第2位=阿部新(豊里中)<剣道男子1年>▶第1位=及川拓人(佐沼中)▶第2位=森俊樹(中田中)▶第3位=三浦真乃輔(佐沼中)、芳賀隼人(東和中)<同2年>▶第1位=五十嵐雅道(佐沼中)▶第2位=千葉勇氣(新田中)▶第3位=田代尚輝(佐沼中)、千葉良真(佐沼中)<同女子1年>▶第1位=菅野春美(米山中)▶第2位=及川莉奈(東和中)▶第3位=伊藤杏奈(中田中)<同女子2年>▶第1位=三浦佳菜(佐沼中)▶第2位=佐藤望(佐沼中)▶第3位=佐々木萌(南方中)、佐藤礼佳(中田中)

登米市中学校新人総合体育大会陸上競技大会

■開催日 10月10日(火)

■会場 一関市運動公園陸上競技場

【男子】<1年100m>▶第1位=早坂祐哉(米山中)▶第2位=菊地真治(南方中)▶第3位=及川翔(中田中)<2年100m>▶第1位=西條裕喜(米山中)▶第2位=千葉真也(米山中)▶第3位=千葉拓馬(石越中)<200m>▶第1位=西條裕喜(米山中)▶第2位=佐々木潤也(東和中)▶第3位=及川哲広(新田中)<400m>▶第1位=千葉史弥(東和中)▶第2位=木村宗斗(佐沼中)▶第3位=竇田慎太郎(米山中)<800m>▶第1位=吉井崇純(東和中)▶第2位=鈴木元気(米山中)▶第3位=佐々木智哉(佐沼中)<1500m>▶第1位=中沢智哉(豊里中)▶第2位=千葉隆(東和中)▶第3位=菊地郁哉(東和中)<3000m>▶第1位=千葉隆(東和中)▶第2位=鈴木元気(米山中)▶第3位=菊地郁哉(東和中)<110mハードル>▶第1位=後藤直士(中田中)▶第2位=遊佐将太(佐沼中)▶第3位=高橋将希(南方中)<400mリレー>▶第1位=早坂・西條・大瀧・千葉(米山中)▶第2位=鈴木・佐々木・名生・鈴木(佐沼中)▶第3位=鎌田・菊地・大内・伊藤(南方中)<走り高跳び>▶第1位=鎌田直樹(南方中)▶第2位=千葉卓(米山中)▶第3位=鎌田翔(佐沼中)<棒高跳び>▶第1位=佐々木孝行(豊里中)▶第2位=千葉真也(米山中)▶第3位=木村宗斗(佐沼中)<走り幅跳び>▶第1位=佐々木潤也(東和中)▶第2位=佐々木拓馬(佐沼中)▶第3位=竇田慎太郎(米山中)<砲丸投げ>▶第1位=鈴木貞(佐沼中)▶第2位=伊藤大貴(新田中)▶第3位=浅野将行(南方中)<四種競技>▶第1位=斉藤孝博(津山中)▶第2位=亀井翔(佐沼中)▶第3位=佐々木大介(石越中)

【女子】<1年100m>▶第1位=鈴木亜唯(南方中)▶第2位=高橋沙季(南方中)▶第3位=櫻井希恵(米山中)<2年100m>▶第1位=千葉爽(米山中)▶第2位=大友紗彩(登米中)▶第3位=今野可結(津山中)<200m>▶第1位=高橋沙季(南方中)▶第2位=大友美香(登米中)▶第3位=高橋亜由美(新田中)<800m>▶第1位=高橋亜由美(新田中)▶第2位=早坂彰恵(登米中)

中) ▶第3位=阿部あさ日(東和中) <1500m> ▶第1位=千葉沙紀(米山中) ▶第2位=小白未央(登米中) ▶第3位=及川芽衣(南方中) <100mハードル> ▶第1位=早坂彰恵(登米中) ▶第2位=田代成美(南方中) ▶第3位=佐々木園子(米山中) <400mリレー> ▶第1位=大久保・鈴木・千葉・高橋(南方中) ▶第2位=大友紗・阿部・早坂・大友美(登米中) ▶第3位=千葉奏・菅原・阿部・千葉美(石越中) <走り高跳び> ▶第1位=浅野裕(南方中) ▶第2位=佐々木あさ子(津山中) ▶第3位=安藤友香(米山中) <走り幅跳び> ▶第1位=千葉美緒(石越中) ▶第2位=麻喜美聖(中田中) ▶第3位=小野寺黎(佐沼中) <砲丸投げ> ▶第1位=松田育衣(南方中) ▶第2位=後藤沙都希(登米中) ▶第3位=佐々木綾香(南方中) <四種競技> ▶第1位=佐藤瑞姫(南方中) ▶第2位=千葉美緒(石越中) ▶第3位=小野寺黎(佐沼中)

【男子総合】 ▶第1位=米山中 ▶第2位=佐沼中 ▶第3位=東和中
 【女子総合】 ▶第1位=南方中 ▶第2位=登米中 ▶第3位=米山中
 【男女総合】 ▶第1位=米山中 ▶第2位=南方中 ▶第3位=佐沼中

平成18年度宮城県 中学生新人力ヌー大会

■開催日 9月23日(土)
 ■会場 加美町鳴瀬川
 力ヌー競技場

【500m】
 (K-1)
 第2位 高橋佑輔
 第3位 千葉孝太
 (WK-1)
 第1位 二階堂真美
 第2位 小野冴子
 第3位 高橋優希
 (K-2)
 第1位 高橋佑輔・佐藤佳祐
 組
 第3位 千葉孝太・只野広世
 組
 (WK-2)
 第1位 小野冴子・二階堂真美
 美組
 ※以上中田中力ヌー部

平成18年度宮城県 総合畜産共進会

■開催日 9月23日(土)
 ■会場 みやぎ総合畜産市場

【肉用牛の部】
 1区(若雌1)
 最優秀賞3席 石川信喜(南方)
 2区(若雌2)
 最優秀賞3席 中川弘明(豊里)
 3区(経産)
 最優秀賞1席 千葉 啓(迫)
 最優秀賞3席 石川信喜(南方)
 4区(父系群)
 最優秀賞2席 登米和牛育種組合

5区(経産群)
 最優秀賞2席 登米和牛育種組合
 【乳用牛の部】
 2区(12ヶ月未満)
 最優秀賞2席 鈴木浩行(南方)
 【女性和牛審査競技会】
 第1位 佐々木由紀子(迫)
 ※最優秀賞以上を掲載



3区最優秀賞3席の石川信喜さん



3区最優秀賞1席の千葉啓さん

平成18年度歯つらつ ファミリーコンクール

【ファミリーの部(家族全員・祖父(母除く)】
 第1席(宮城県知事賞・最優秀賞) 高嶋和義・由美・萌未・唯菜 郁花(米山)
 第2席(優秀賞) 小俣光浩(4人)(南方) 五嶋信之(4人)(中田)
 【母子の部】
 第2席(優秀賞) 高橋みえ子・将輝(中田)
 ※上位入賞者を掲載



ファミリーの部第1席を受賞した高嶋さん親子。むし歯にならない秘訣は食べたら磨くこと

平成18年度8020 よい歯のコンクール

第1席(最優秀賞) 千石寛(米山)

第5席(8020賞) 及川たか子(登米)
 ※上位入賞者を掲載



80歳になるまで一度もむし歯にならなかったことがない千石さん。現在も32本全部あります。

平成18年度TBC こども音楽コンクール

■開催日 9月16日(土) 17日(日)
 ■会場 名取市文化会館

【中学校合奏第1の部】
 優秀賞 佐沼中管曲部

第38回宮城県小・中・ 高等学校音楽発表会

■開催日 9月27日(水)
 ■会場 石巻市河北総合センター(ビッグバン) 文化交流ホール

金賞 佐沼中管曲部
 ※東北大会出場
 金賞 佐沼高管曲部
 ※東北大会出場

元 米山で保育園運動会 気にかけてっこよーいドン

よねやま保育園運動会が10月7日、米山体育センターで開催されました。同センターは、5月からアスベスト（石綿）除去工事のため閉館していましたが、工事が終了し9月から使用を再開しています。当日は台風並みの暴風雨でしたが、園児たちは室内で保護者の声援を受けながら、三輪車と跳び箱を使った障害物競争やかけっこなど、元気いっぱい競技しました。また、この日のために一生懸命に練習してきたダンスも披露し、上手にリズムに乗って踊れたことに笑顔がこぼれていました。



▲保護者の声援の中、障害物競走の跳び箱へ元気に飛び乗る園児



▲ジャスコ南方店でマイタケを販売する米川小みどりの少年団

植 東和米川小がマイタケ販売 菌から販売まで貴重な体験

米川小みどりの少年団（5、6年生）のマイタケ販売が9月25日、ジャスコ南方店や市役所などで行われました。この事業は、米川生産森林組合と連携し、春に植菌したマイタケを収穫、販売するという林業体験の一つ。のぼり旗やプラカードを掲げ「採れたてのマイタケです！」と元気に宣伝しながら販売しました。団長の佐藤和裕君は「販売は難しかったけれど、お客さんが来てくれてうれしかった」と話していました。ジャスコ南方店では、60袋用意したマイタケが1時間足らずで完売する盛況ぶりでした。

共 登米で生活体験宿泊学習 同生活で家事を学ぶ

児童の豊かな人間性を育成しようと、生活体験宿泊学習「合宿通学」が10月4日から7日までの4日間、登米公民館で行われました。登米小4年生から6年生までの13人が参加。児童たちは、ボランティアの人たちや中学生のジュニアリーダーに教えられながら、食事の支度や施設の清掃などをして共同生活をしました。最後の夜は、それぞれの保護者を招待して、寸劇や自分たちで作った料理を振る舞う夕食交流会を実施。参加した保護者は、子どもたちのおいしい手作り料理をうれしそうに食べていました。



▲保護者を招いての夕食交流会では一生懸命料理を作りました



▲舞台裏にあるセットに触れ仕組みなどを学ぶ児童たち

影絵の美しさに感動の拍手

津山で県巡回小劇場

児童に生の演劇や演奏を鑑賞してもらう、県巡回小劇場が10月13日、津山若者総合体育館で開催され、柳津小・横山小の児童209人が参加しました。劇団みんなわ座による影絵の上演では、会場全体を利用した色鮮やかな照明や、響き渡る音楽と効果音に児童たちは歓声を上げ、感動した様子で拍手を送っていました。また、上演後には舞台裏を見学。劇団員から影絵の仕組みや、人形づくりなどの説明を受けて喜んでいました。参加した児童は「初めて影絵を見たけれどとてもきれいだった」と話していました。

自分の好みに完成したよ！

南方で出張陶芸教室

出張陶芸教室が10月11日、東郷幼稚園で開催され、園児27人が参加しました。夏休み期間中に小学生以上を対象とした親子陶芸教室を開催したところ、好評だったため、幼稚園児にも「作る楽しさ」と「物を大切に作る心」を学んでもらおうと開催。園児たちは、互いにどんな絵を描くのか相談しながら、自分の好きな色で皿を作りました。参加園児は「自分が描いた絵やマンガが皿になるなんてすごい」と話していました。完成した作品は、11月4～5日に開催する「みなみかた秋まつり」で展示されます。



▲園児たちは好みの色で絵やマンガを一生懸命皿に描きました



▲家族でウォークラリーのチェックポイントのクイズに挑戦しました

家族揃ってチャレンジ！

中田でスポーツまつり

なかだスポーツまつりが10月8日、なかだアリーナで開催され、約150人が参加しました。この事業は、中田地区体育協会などの団体が、家族で気軽楽しめるスポーツを体験してもらおうと、毎年体育の日の前後に開催しています。今年は各チェックポイントでクイズを解きながら進むウォークラリーや、グラウンドゴルフ、ディスクゴルフなどのニュースポーツ体験コーナー、トレーニングルームの無料開放を実施。お昼には豚汁のサービスもあり、スポーツの秋と食欲の秋を堪能した1日となりました。

石越でみやぎ国体開催記念ペタンク大会 最後の一投で大逆転劇

第5回みやぎ国体開催記念杯ペタンク大会が10月15日、石越総合運動公園で開催され、県内から愛好者70チーム、210人が参加しました。県ペタンク協会の中嶋富雄^{とみお}会長が「最後の一投で勝負が決まることもあるので、あきらめないで頑張ってください」とあいさつ。その後、予選リーグ戦と決勝トーナメント戦が行われました。各チームの戦略的なプレーや好・珍プレーに、会場内は歓声と笑い声が絶えませんでした。【大会結果】優勝＝第7B（石越）、準優勝＝コスモス（石越）、第3位＝志波姫D（志波姫）



▲各チームの参加者は一投一投考えながらプレーしました



▲水田魚道の説明を熱心に聞く参加者

伊豆沼周辺の環境を考える 迫で水土里の路ウォーキング

水土里の路ウォーキング（新田地区アグリビジネス検討委員会主催）が10月14日、伊豆沼周辺で開催され、県内外から32人が参加しました。約3^{キロ}のコースを歩きながら、稲刈り体験や水田魚道、植生魚巣ブロック、排水機場、伊豆沼内沼サンクチュアリセンターなどの施設を見学。ウォーキング中の風景を、デジタルカメラで撮影した写真コンテストも行なわれ、入賞者には新米とみそが贈られました。参加者は「自然環境を考えて農業が行なわれていることが良く分かりました」と話していました。

豊里で小・中学校合同遠足 みんなで楽しく歩こうね

豊里小・中学校となって初めての合同遠足が10月12日に行われ、小学校児童359人、中学校生徒192人が参加しました。1・4・7年生が植立山（石巻市桃生町）、2・5・8年生が平筒沼（米山・豊里）、3・6・9年生が栗公園・桜公園（豊里）の3つのコースに分かれ、さらに学年を縦割りにグループを編成。午前9時過ぎに出発し、交流活動や奉仕作業などを行いました。中学生が小学校低学年の手を引きながら歩く姿や、楽しく会話する姿が見られるなど、小・中合同の行事で友情が深まりました。



▲小学生と中学生が楽しい会話や奉仕作業などで交流した合同遠足

9/26

交通安全願い手作りマスコットを配布

迫児童館白鳥クラブ（後藤智恵子代表）会員13人と子どもたちが、交通安全運動期間中の9月26日、ヨークベニマル佐沼店前で手作りマスコットを来店者に手渡ししながら交通安全を呼び掛けました。マスコットは同館幼児クラブ会員とその賛助会員で作成した白鳥をかたどったもの。参加者は「交通安全につながってもらえれば」と話していました。



▲マスコットを手渡し交通安全を呼び掛けました

9/26

うるおいのある住みよいまちを目指し

第1回登米市公衆衛生大会が9月26日、登米祝祭劇場で行われ、市内公衆衛生組合員や関係者ら約200人が参加しました。公衆衛生活動などに貢献したとして、32団体と個人15人に登米保健所長と市公衆衛生大会長が感謝状を贈呈。その後、陶芸家・音楽家の吉川団十郎さんを講師に迎え、「みんな生きている」と題した記念講演が行われました。



▲公衆衛生活動に貢献した団体と個人に感謝状を贈呈

10/5

いつまでも友達と仲良く遊んでね

幼児の人権教室が10月5日、南方幼稚園で開催され、園児61人が参加しました。人権擁護委員で県子ども人権専門委員の千葉千代子さん（米山）が、みんなで仲良く遊ぶ大切さなどを園児たちに指導。人権に関するアニメビデオを鑑賞しました。また、マスコットキャラクターも登場し、風船をもらったり、握手をしたりして楽しみました。



▲まもる君、あゆみちゃんと握手をする園児たち

10/5

パソコンが苦手な人も果敢にチャレンジ

市青色申告会連合会の主催による、国税電子申告・納税システム（e-Tax）研修会が10月5日、南方情報センター「るば」で行われ、約20人が参加しました。佐沼税務署職員が国税庁ホームページや電子申告の利用について説明。参加者はインターネットを利用して、e-Taxの開始届出書の提出や所得税確定申告書の作成などを行いました。



▲インターネットを利用した国税申告を学ぶ参加者



市民の広場

ほくとわたしの夢

No.19

美容師になって地元のお店を

「美容師になって地元で自分のお店を出したい」と話す藍衣さん。美容師を目指そうと思ったのは小学3年生のころ。いつも利用している理容店で、女性の理容師さんが手際良くカットやシャンプーをする姿にあこがれたことがきっかけです。

自宅では、お母さんの髪をくしでとかしてあげたり、ゴ

ムで結ってあげたりしています。また、自分の前髪も上手に切ることもできます。

藍衣さんは、1年生のときから始めたスポ少のバレーボール部に所属。週3回の練習は、ほとんど休まずに参加する頑張り屋さんです。

「近所のおばあさんたち全員のをきれいにしてあげたい」。笑顔で話していました。



佐藤 藍衣さん (東郷小4年)
(南方町大門・国浩さん方)

市民の広場のコーナーでは、掲載を希望する人や情報を募集しています。広報係まで情報をお寄せください。

■総務部総務課広報係

〒987-0511 登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1
☎0220(22)2090 FAX0220(22)9164
Eメール koho@city.tomeriyagi.jp

文芸

俳句・川柳

作品募集!

●12月号は短歌です。住所、氏名、電話番号を記入し、11月10日までご応募ください。
●応募者多数の場合は抽選で掲載します。

俳句

- | | |
|-----------------|-------------|
| みちのくの楽天球場天高し | 遠藤 聖子 (津山) |
| 王朝の恋をしのべり実紫 | 武山 より子 (津山) |
| 豆柿の味忘れ得ぬ古里の山 | 近藤 讓行 (中田) |
| 青蚊帳も団扇も知らぬ時代となり | 大坂 京治 (中田) |
| アルバムの母に会ひたき無月哉 | 金野 容子 (中田) |
| 舞茸の山と積まれし道の駅 | 及川 裕子 (東和) |
| 改葬を知らず野菊のゆれてゐて | 及川 淑子 (東和) |

川柳

- | | |
|------------------|-------------|
| 新米出秋茄子おかずで不平なし | 柳 やす子 (米山) |
| 新米を食べてピーちゃん手を合わせ | 阿部 いちよ (米山) |
| 長年の貧乏性リサイクル | 佐藤 よしの (石越) |
| 廃食油車を走らす原油高 | 岩 渕 寿 (迫) |
| 機械化で足を汚さず米作り | 福泉 ふみこ (米山) |
| 逸る気を察した青の信号機 | 戸部 みよ子 (米山) |
| 秋雲のさびしく流れる沼の上 | 佐々木 廣 (迫) |



菅野 こゆきちゃん
(登米町後小路)
平成17年2月26日生まれ
(1歳)
浩文さんの次女

3歳のお姉ちゃんと仲良しのこゆきちゃん。いつもかけっこや絵本読みをして遊んでいます。こゆきちゃんのお気に入りはおタオル。全く同じ柄で、大きさが違う昼用と夜用を持っています。



濱田 晟央くん
(米山町千貫)
平成17年1月19日生まれ
(1歳)
健成さんの長男

晟央くんの秘密基地は自宅の庭。いつも飼っているニワトリにえさを与えたり、桜の木の下でお気に入りのウンボのおもちゃで遊んだりしています。カボチャとイモが好物の晟央くんです。

■大人向け



「あなたに逢えてよかった」
新堂冬樹／著

作者が“絶対の愛”を真正面から描いた純恋小説3部作、完結篇。



「金メダルへの道」
荒川静香・NHK取材班／著

自分らしく滑りたい！トリノの女神が語る軌跡とこれから。



「散るぞ悲しき」
梯久美子

東京・日本を空襲から守るために玉砕を拒んだ総指揮官がいた。

■子ども向け



「ランプの精 リトル・ジーニー4」
ミランダ・ジョーンズ／著

ロマンチックなお城でくりひろげられるスリルときめきの物語。



「デルトラの伝説」
エミリー・ロッド／著

これまで描かれなかったデルトラの秘密の歴史が満載の外伝です。



「いがぐり星人グリたろう」
大島妙子／著

グリたろう、大丈夫だよ。宇宙船がなおるまでぼくが一緒だよ。

※たくさん新刊が入りました。詳しくは市ホームページをご覧ください。

わげすたづ わげすたづ わげすたづ わげすたづ

まちの若い衆

No.19



佐々木 秀太郎さん (27歳)

ささき しゅうたろう
豊里町長根・しし座

心を込めて打つうどんを
たくさんの人に食べてもらいたい

▼身長と血液型 177センチ
▼現在 今年5月に市消防署南出張所隣にオープンした、うどん店「常盤」の店長をしています。うどん店ですが、夜はジンギスカンやお酒なども提供しています。

▼自分の性格 はつきりしていて明るい性格。ギャグをよく言いますが、あまり受けたことがありません。
▼休日 店の定休日が毎週木曜日ですが、日中は次の日の仕事の準備をしています。お酒が好きなので、夜は友達とよく飲みに出掛けます。
▼趣味は イギリスの音楽を聞くこと。最近、高校のときにやっていたバンドをまた始めました。
▼理想の女性像 一緒にいて落ち着く人がいいです。
▼結婚は 今のところは考えていません。
▼今やってみたいこと 外国にうどん店を出してみたいです。自分が心を込めて打つうどんを、たくさんの人に食べてもらいたい。

わが家のアイドル



ゆい 須藤 優衣ちゃん
(迫町錦東)
平成16年11月12日生まれ
(1歳)
慎也さんの長女

枝豆や焼き魚が好物の優衣ちゃん。プーさんが大好きで、食器には全部プーさんの絵が入っています。最近お絵描きを覚えました。悲しい顔やうれしい顔など、顔まねも上手な優衣ちゃんです。



しょうた 大山 翔太くん
(津山町元町第二区)
平成16年1月1日生まれ
(2歳)
豪さんの長男

翔太くんは車が大好きで、一度覚えた車種は全部言えます。お気に入りには真っ赤なエステイマのバッテリーカー。毎日必ず乗っています。いつもママと一緒に、もくもくランドで遊んでいます。

健康 & 福祉

11月の保健カレンダー

※時間は受付時間

迫 迫保健センター ☎0220 (22) 5554			登米 登米総合支所市民福祉課 ☎0220 (52) 5054			東和 東和総合支所市民福祉課 ☎0220 (53) 4112		
10(水)・10(金) 17(金)・22(水)	ポリオ予防接種	8:30~13:30	1(水) わいわい広場	10:00~11:30	9(木) ポリオ予防接種	13:00~13:30	13(月) なんでも健康相談	9:00~11:00
6(月)	子育て開放日・栄養相談日	9:30~12:00	8(水) ポリオ予防接種	13:15~14:00	13(月) 健康(栄養)相談	8:30~11:30	28(火) こころの相談(要予約)	13:30~15:30
9(木)	離乳食教室	8:30~9:30	22(水) わいわい広場	10:00~11:30				
16(木)	こころの相談(要予約)	13:30~15:30						
中田 中田総合支所市民福祉課 ☎0220 (34) 2311			豊里 豊里総合支所市民福祉課 ☎0225 (76) 4113			米山 米山総合支所市民福祉課 ☎0220 (55) 2112		
7(火)・14(火)	ポリオ予防接種	13:30~14:00	7(火) 14(火) 28(火)	ポリオ予防接種	13:15~13:30	6(月)	健康相談	9:00~11:00
9(木)	幼歯科健診(H16年10月・11月生まれ)	13:00~13:10	10(金)	こころの相談(要予約)	13:15~17:00	6(月)・10(金)	乳がん検診	詳細は通知をご覧ください
15(水)	1歳6カ月別健診(H17年4月生まれ)	12:30~12:45	21(火)	離乳食相談	9:45~10:00	14(火)	ポリオ予防接種(西野・桜岡地区)	13:45~14:30
21(火)	こころの相談(要予約)	13:30~15:30	21(火)	2歳児歯科健診	13:00~13:15	16(木)	こころの相談(要予約)	9:30~15:00
28(火)~12(7)	乳がん検診	個別に通知します				21(火)	ポリオ予防接種(中津山・善王寺地区)	13:45~14:30
石越 石越総合支所市民福祉課 ☎0228 (34) 2112			南方 南方総合支所市民福祉課 ☎0220 (58) 2113			津山 津山総合支所市民福祉課 ☎0225 (61) 5011		
9(木) 10(金)	ポリオ予防接種	13:00~13:15	2(木)	こころの相談(家族福祉)	要予約	7(火) 14(火) 28(火)	ポリオ予防接種	13:15~13:30
9(木)	こころの相談(要予約)	10:00~15:30	7(火) 21(火)	ポリオ予防接種	13:15~13:30	10(金)	まめつこ広場	9:30~10:00
13(月)	健康相談	9:30~16:00	9(木)	こころの相談(医師)	要予約	17(金)	びれあセンター開放日(あそびの広場)	9:30~11:00
20(月)	子育てリフレッシュ講座	10:00~11:30	13(月)	健康相談(場所:南方総合支所)	9:00~16:00	27(月)	健康相談(フィットネスルーム)	9:30~16:00

不明な点は、各総合支所市民福祉課健康づくり係までお問い合わせください

福祉情報

障害者支援に市の独自軽減策

市では、障害者の福祉サービス利用に原則1割の自己負担を求める障害者自立支援法の施行に伴い、10月から利用者の負担を軽減する独自の施策を始めました。

法定福祉サービス（訪問介護・短期入所などの在宅系サービスや施設への入所・通所などの施設系サービスなど）と、地域生活支援事業（移動支援事業・訪問入浴サービス事業・日中一時支援事業）を対象に、月の合計利用者負担額（総費用の1割）を平成18年度は60%、19年度は40%、20年度は20%軽減します。このため、今年度の利用者は、総費用額の4%が支払い額になります。

さらに、法定福祉サービスと地域生活支援事業のサービスを共に利用した場合、所得に応じてそれぞれに負担上限額がありますが、両サービスの利用料合計額を負担上限額とする「総合上限額制」を用いることで、利用者の負担を軽減します。

また、こじか園の利用者負担が重くなることに備え、平成20年度まで保護者が支払う利用料の原則50%を独自助成し、負担額を抑制します。

【問い合わせ】 福祉事務所社会福祉課 障害福祉係
☎ 0220 (58) 5551 FAX 0220 (58) 2375

◆利用者負担軽減策の対象となるサービス

法定福祉サービス

【在宅系サービス】

▶ 居宅介護（ホームヘルプ） ▶ 短期入所（ショートステイ） ▶ 重度訪問介護など

【施設系サービス】

▶ 施設への入所 ▶ 施設への通所 ▶ 共同生活援助（グループホーム）など

地域生活支援事業

▶ 移動支援事業 ▶ 訪問入浴サービス事業 ▶ 日中一時支援事業など

※日常生活用具の給付・貸与事業については、軽減策からは除かれます。

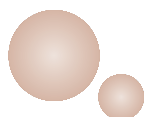
◆軽減率

	H18年度	H19年度	H20年度
軽減率	60%	40%	20%

◆軽減策の実施方法

【例】平成18年度に月額10万円分のサービスを利用した場合

●利用者が事業者を支払うのは1割の自己負担（1万円）のうち40%なので、4,000円となります。
支払った額が月額上限負担額（障害者の所得によって4つに区分）を超えた場合は、その分は戻ってきます。

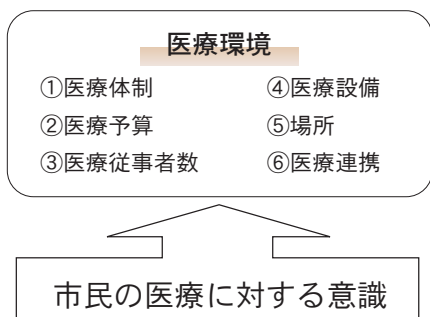


こちら地域医療連携室



登米市の医療環境について

先日NHKで、医師不足と医療費の問題が放送されていました。登米市も市民を交えた議論の場がほしいですね。登米市を安心して住める地域にするには、皆さんが医療現場を正しく理解し、医療環境を自治体任せとしないで、しっかり考える必要があると思うからです。「在院日数を意識した病院利用がなぜ必要なのか」「医療連携はなぜ必要なのか」「医師の労働環境は適切か」「医療従事者や老健施設は足りているか」「医療機器はどこまで必要か」また、「医療予算はどうか」など、現状を提示してもらい、それを踏まえて市民が考えるべき事柄は数多くあります。



市民の医療意識が、その地方の医療環境に及ぼす影響は大きいのです。

例えば皆さんは医師の勤務体制をご存知ですか。医師は朝から働いて夜間当直に入り、次の日も朝から通常勤務です。登米市では月に何回も院長自ら当直をしている市立病院もあるのです。それほど医師が足りていません。

医師は患者のことでいつでも電話がくる日々が続きます。日本の医療は医師の疲労や家族を無視し、そんな勤務体制を当たり前としてきました。医師の使命感や心意気に頼った体制は、激務が続けば長続きしません。それはどんな職種でも同じだと思いませんか。登米市は4月以降、内科と外科の医師がさらに1人ずつ減っています。

一方、患者さんとしても病気のだから病院に行き、治療して治ると思うのは自然なことです。ただ、物が欲しいときいつでも店に行けば買えるという発想は捨てる時期です。店に行っても品物がないということが医療現場で起こりつつあるからです。病院に医師がおらず、必要な医療が受けられないのです。この原因は国や地方自治体だけの責任ではありません。皆さんの医療に対する意識も、医療従事者の働く意識も重要です。医療環境が悪くなることは、医師が辞めたり、医師が来なかったりする原因の一つになり得ます。それは登米市民の損失でもあります。

全国的に医療体制が問われる今日、市民自ら真剣に考え、知恵を出し合って意見をまとめ、県や関係機関などに働きかけるときだと思えます。脳卒中後遺症や認知症の人々を引き受ける施設が登米市は足りているのか一人一人が考える時期だと思いませんか。

地域医療連携室 室長 千葉正典(内科医師)

【問い合わせ】 市立佐沼病院 地域医療連携室

☎ 0220 (22) 5511(内線215) FAX 0220 (20) 7122

障害者就業相談のお知らせ

【相談日】 11月28日(火)

【場所・時間】 米山総合支所 午前10時～正午
 県登米保健福祉事務所 午後2時～4時

【申し込み】 予約制です。お住まいの総合支所市民福祉課市民福祉係へ申し込みください。

【問い合わせ】 福祉事務所社会福祉課 ☎ 0220 (58) 5551
 各総合支所市民福祉課 市民福祉係

母子健康手帳の交付・妊産婦相談

毎週月曜日 8:30～11:30

母子健康手帳は原則として、住所地の総合支所市民福祉課健康づくり係で交付します。上記以外においての際は、事前にご連絡ください。

また、妊産婦の健康相談も行っています。気軽にご相談ください。電話での相談も随時、受け付けています。

11月の休日当番医

休日急患当番医 ☎ 0220 (22) 2084 (医師会)			
11/3(水)	やすらぎの里サンクリニック	南方町	☎0220 (29) 6060
5(金)	登米病院	登米町	☎0220 (52) 2175
12(土)	八嶋中央診療所	石越町	☎0228 (34) 2013
19(水)	おおたおおたにクリニック	中田町	☎0220 (35) 1161
23(日)	菅原内科クリニック	迫町	☎0220 (22) 0888
26(水)	桜井医院	登米町	☎0220 (52) 3936
12/3(日)	米谷病院	東和町	☎0220 (42) 2007
診療時間 9:00～17:00			
休日・夜間診療案内 ☎ 0229 (24) 2267 (24時間)			

大切な“いのち”を守るため 献血にご協力ください



11/5(日)	チャチャワールド	10:00～12:00	全血
	いしこし	13:00～16:00	
7(火)	東和総合支所	15:00～16:30	全血
15(水)	東北新生園	10:00～12:30	全血
	(株)登米村田製作所	14:30～16:30	
18(土)	三愛ロジスティクス(株) 迫営業所	9:30～12:30	全血
	登米総合体育館	14:00～16:00	

【問い合わせ】

市民生活部健康推進課 健康推進係
 ☎ 0220 (58) 2116



千葉 美咲ちゃん
(登米町蛭沢・寿行さん)



福泉 楓巳くん
(米山町追土地・淳さん)



渡邊 廉くん
(南方町梶沼・温さん)



大内 夢叶ちゃん
(南方町南大畑・英敏さん)



佐藤 さくらちゃん
(迫町駅前・蘭美さん)



三田 勇太くん
(登米町我津郷・卓也さん)



及川 菜緒ちゃん
(登米町館山・孝弘さん)



菅野 さゆきちゃん
(登米町後小路・浩文さん)

10月18日までの
3歳児健診(3歳
6カ月~7カ月児)で
むし歯がなかった子は、
市内6地区で
37人中13人でした



佐々木 潤くん
(迫町下舟町・誠彦さん)



藤本 さくらちゃん
(迫町内町・寿一さん)



石川 真太くん
(迫町舟橋・達也さん)



穴戸 瑛ちゃん
(迫町鉄砲丁・正彦さん)



佐々木 舞桜ちゃん
(迫町錦東・孝彦さん)

特定不妊治療費助成事業

不妊治療のうち、体外受精と顕微受精（特定不妊治療）の治療を受けている夫婦の経済的・精神的負担を軽減するため、治療に要する医療費を助成します。

【対象】

- ◆特定不妊治療をしている法律上の婚姻関係にある夫婦
- ◆申請日の1年以上前から登米市に住所を有し、居住していること
- ◆宮城県特定不妊治療助成事業に係る宮城県特定不妊治療費助成事業承認決定通知書の交付を受けていること

【助成額】 年1回2年を限度とし、1年度当たり10万円を限度とします。

【問い合わせ】

市民生活部健康推進課 健康推進係
☎ 0220 (58) 2116

中田町

子宮がん検診 実施のお知らせ

先に子宮がん検診（集団検診）を実施しましたが、受けられなかった人を対象に下記のとおり実施します。

【検診期間】 11月13日（月）～12月2日（土）

【実施場所】 市の指定医療機関

【対象者】 中田町在住の20歳以上の女性で、先に実施した子宮がん検診（集団検診）を申し込みし、受けられなかった人

【検診料金】 無料

【受診票の交付】 受診する人には、下記のとおり受診票を交付します。

◆交付期間 11月6日（月）～20日（月）
午前8時30分～午後5時

◆交付場所 中田総合支所市民福祉課
健康づくり係

【問い合わせ】

中田総合支所市民福祉課 ☎ 0220 (34) 2311

11月は「賃金不払残業 解消キャンペーン月間」 ～全国一斉無料相談～

【日時】 11月23日（祝）

午前9時～午後5時

【電話番号】 ☎ 0120 (793) 283

【問い合わせ】

宮城労働局労働基準部 監督課

☎ 022 (299) 8838

電話のユニバーサル サービス制度が 始まります

◆ユニバーサルサービスとは？

電気通信事業法により、「あまねく日本全国で提供が確保されるべき」と規定されているサービス。加入電話、公衆電話、110番・118番・119番などの緊急通報がこれに該当。

◆なぜユニバーサルサービス制度が必要なのか？

ユニバーサルサービスの確保に必要な費用が不足しており、このままではNTT東日本・西日本だけでユニバーサルサービスを維持できなくなることから、主要な電話会社全体で支えていくことになりました。

◆利用している電話会社の利用料金が値上がりするの？

ユニバーサルサービス制度の負担金は、当該負担金を拠出する電気通信事業の費用の一部を構成するものであり、最終的にはその原資は最終利用者からの料金収入によって賄われます。そのため、ユニバーサルサービス制度の負担金を拠出する事業者が当該負担金を経営努力によって内部吸収するか、あるいは利用者に対して負担を求めるかについて、経営判断により決定することになります。

仮に利用者に負担が求められた場合、請求開始は来年1月となります。その際、1番号当たりの負担額は月額7円となります。

詳細は、ご利用の電気通信事業者

にお問い合わせください。

【問い合わせ】

東北総合通信局

情報通信部電気通信事業課

☎ 022 (221) 0630

県登米保健福祉事務所 (保健所) 健康相談など

各種相談・登録を行います。プライバシーは守られますので、安心してご相談ください。

【11月の相談日】

期日	事業名	予約先電話番号
14(火)	骨髄提供希望者登録日	0220 (22) 6119
14(火)	引きこもり・思春期専門相談	0220 (22) 6118
16(木)	認知症専門相談	0220 (22) 6117
22(水)	アルコール家族教室	0220 (22) 6118
28(火)	骨髄提供希望者登録日	0220 (22) 6119
30(木)	精神保健福祉相談(こころの相談)	0220 (22) 6118

【相談料】 無料

【注意事項】 予約が必要です。日程など変更する場合がありますので、予約の際に電話で確認してください。

【問い合わせ】

県登米保健福祉事務所

企画総務班

☎ 0220 (22) 7514

パソコン相談室

◆無料相談会

パソコンで困っている人のため、無料相談会を開催します。パソコン持ち込み可能な人は、持参してください。

【日時】 11月26日（日）

午前10時～正午

【場所】 豊里公民館 小会議室

【申込期限】 11月24日（金）

【申し込み・問い合わせ】

NPO法人パソコン・ネット・みやぎ

☎ 0220 (21) 5262

登米祝祭劇場 11月のイベント情報

登米祝祭劇場

☎ 0220 (22) 0111

◇えほん・おもちゃであそぼう!!

8日（水） 午前10時

【入場料】 親子 300円

【問い合わせ】

NPO法人 すくすく保育研究所

☎ 090 (2999) 8253

◇佐沼小学校合唱隊・吹奏楽部

ジョイントコンサート

9日（木） 午後6時30分

【入場料】 無料

【問い合わせ】

佐沼小学校

☎ 0220 (22) 2740

◇はさま吹奏楽団

第21回定期演奏会 まちの音楽会

12日（日） 午後2時

【入場料】 前売り 500円

【問い合わせ】

はさま吹奏楽団

☎ 0220 (22) 3427

◇加藤有華バレエスタジオ

30周年記念発表会

19日（日） 午後1時

【入場料】 前売り 2,000円

【問い合わせ】

加藤有華バレエスタジオ

☎ 0220 (22) 2886

◇新舞踊

夢の花道チャリティーショー

26日（日） 午前10時30分

【入場料】 前売り 2,500円

【問い合わせ】

小野寺 勲

☎ 0220 (34) 5608

映画「待合室」上映会

一本の鉄道が通る岩手の小さな町。その町の駅の待合室に「命のノート」と呼ばれているノートがあった。映画『待合室』は、実在する「命のノート」から生まれた感動の物語です。

【日時】 12月2日（土）

1回目＝午後2時～
2回目＝午後7時～

【場所】 登米祝祭劇場

【出演者】 富司純子、寺島しのぶ、ダンカン、あき竹城ほか

【入場料】 ▶前売り：一般・学生＝1,000円▶当日：一般・学生＝1,500円、小中高校生＝800円（当日券のみ）

【チケット販売】

市社会福祉協議会本部・各支所、登米祝祭劇場

【問い合わせ】

映画「待合室」登米市上映実行委員会（市社会福祉協議会本部内）
☎ 0220（21）6310

榎 小奈帆

シャンソンの夕べ

栗原市若柳出身のシャンソン歌手、榎小奈帆さんのコンサートが行われます。

【日時】 12月7日（木）

午後6時30分～

【場所】 登米祝祭劇場

【入場料】 ▶前売り：大人＝2,500円、小中高校生＝1,000円▶当日：大人＝3,000円、小中高校生＝1,200円

※未就学児は入場できません。

【チケット販売】 登米祝祭劇場、市内プレイガイド

【問い合わせ】 登米祝祭劇場

☎ 0220（22）0111



オストメイト相談会

今回は特に、県内のウロストミーとイレオストミー、その家族を対象に相談会を開催します。

◆ウロストミー部会

【日時】 11月18日（土）

午後1時～4時

【場所】 仙台市荒町市民センター 第3会議室

◆イレオストミー部会

【日時】 11月25日（土）

午後1時～4時

【場所】 仙台市福祉プラザ 第2研修室

◆共通事項

【内容】 術後のケア、ストマ用装具、社会生活、福祉制度などについて

【問い合わせ】

（社）日本オストミー協会
宮城県支部（支部長：菅原）
☎ 0228（32）4234

明るい選挙を呼び掛ける標語を募集

県選挙管理委員会では、明るい選挙を呼び掛ける標語の募集をします。

【テーマ】 ①きれいな選挙の推進を表すもの②棄権防止の呼び掛けを表すもの

【応募資格】 県内に在住している人

【字数】 20字以内

【応募方法】 住所、氏名（ふりがな）、年齢、性別、職業、電話番号を記入の上、郵送、ファクシミリ、電子メールのいずれかの方法で応募してください。様式は自由です。

【応募期限】 11月30日（木）

※郵送の場合は当日消印有効

【注意】 ①作品は何作でも構いません。必ず自作で未発表のものに限ります。②応募作品は原則として返却しません。③入賞作品の著作権は県選挙管理委員会に属します。また、入賞者に断わりなく字句を加筆・修正して使用する場合があ

ります。④作品を使用する際は、作成者の氏名、市区町村名（児童・生徒の場合は学校名と学年）を公表します。

【応募先・問い合わせ】

県選挙管理委員会事務局

☎ 022（211）2343

〒980-8570

仙台市青葉区本町三丁目8-1

☎ 022（211）2299

✉ senkyo@pref.miyagi.jp

自衛隊生徒募集

【制度概要】 自衛隊の最新装備を扱う専門技術者を養成するために、中学校卒業者などを対象に採用する制度です。

【身分】 特別職国家公務員として採用され、給与を支給されます。

【教育期間】 4年間で、最初の3年間は「高等学校指導要領」に準じて実施され、修了時には高等学校の卒業資格を取得できます。

【応募資格】 中学校卒業など（見込みの者を含む）の人で、17歳未満の男子（平成19年4月1日現在）

【受付期間】 11月1日（水）～平成19年1月9日（火）

【採用試験（一次）】

平成19年1月13日（土）

◆説明会

【日時】 11月19日（日）

第1回＝午前10時30分～11時30分
第2回＝午後1時～2時

【場所】 迫公民館 視聴覚室

【注意事項】 ①保護者の同伴が必要です。※生徒のみの場合には説明しかねます。②登米地域事務所でも随時、説明を行っています。

【問い合わせ】

自衛隊宮城地方協力本部

登米地域事務所

☎ 0220（34）2244



市民参加の新たな森林づくり 間伐・炭アート製作体験 参加者募集

県と市では、森林づくりを通じて都市と農村、人と自然の交流を目指し「市民参加の新たな森林づくり」に取り組んでいます。

4月に実施した「植林体験」の第2弾として「間伐体験」と「炭アートの製作」を実施します。

◆間伐・炭アート製作体験

【日時】 11月25日（土）

午前9時50分～午後3時

【集合場所】 市役所登米庁舎前駐車場
※マイクロバスで移動します。

【集合時間】 午前9時50分

【間伐体験】 登米森林公園（午前10時30分～午後1時、昼食時間含む）

【炭アート製作】 とよま観光物産センター「遠山之里」（午後1時30分～3時）

【参加費】 1人500円（炭アート製作材料費）

【持ち物】 長靴、のこぎり（ある人）、手袋、昼食

◆参加者募集

【募集人員】 50人（定員になり次第締め切り）

【申込方法】 参加者全員の住所、氏名、年齢を記入の上、はがきまたはファクシミリで申し込みしてください。

【申込締切】 11月21日（火）

【申し込み・問い合わせ】

県登米地方振興事務所林業振興部
〒987-0511

登米市迫町佐沼字西佐沼150-5

☎ 0220 (22) 6125

FAX 0220 (22) 1604

「登米IC（仮称）を 活用した地域おこし」 シンポジウム参加者募集

平成20年3月に三陸縦貫自動車道「登米インターチェンジ（仮称）」の供用が予定されており、これを活用し登米地域の活性化を目指すため、シンポジウムを開催します。

【日時】 11月28日（火）

午後1時～4時

【場所】 サンシャイン佐沼

【内容】 ①基調講演＝講師：(株)東北地域環境研究室代表、志賀秀一さん②パネルディスカッションなど

【募集人員】 150人程度（先着順）

【申込方法】 電話、ファクシミリ、または電子メールで申し込みください。ファクシミリ、電子メールの場合は、住所、氏名、電話番号を記入の上、登米インターチェンジ（仮称）を活用した地域おこしシンポジウム参加希望と明記してください。

【申込期限】 11月20日（月）

【申し込み・問い合わせ】

県登米地方振興事務所地方振興部
振興第二班

☎ 0220 (22) 6123

FAX 0220 (22) 7522

✉ tmsinbk2@pref.miyagi.jp

NPOマネジメント・ セミナー参加者募集

NPO法人の設立や組織運営、かわる人の役割など、活動を継続していくための問題を考えます。

【日時】 12月11日（月）

午後2時～5時

【場所】 迫公民館

【対象者】 NPOをこれから立ち上げようと考えている人、NPO関係者、自治体職員

【講師】 加藤哲夫さん（NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター代表理事）

【定員】 30人（定員になり次第締め切り）

【受講料】 無料

【申込方法】 住所、氏名（ふりがな）、年齢、性別、職業、電話番号を記入の上、郵送、ファクシミリ、電子メールのいずれかの方法で応募してください。

【主催】 宮城県

【申し込み・問い合わせ】

NPO法人杜の伝言板ゆるる
〒983-0852

仙台市宮城野区榴岡3-11-6

コーポラス島田B-6

☎ 022 (791) 9323

FAX 022 (791) 9327

✉ npo@yururu.com

被害者相談窓口と犯罪被害給付制度

◇被害相談窓口

宮城県警察では、犯罪被害に遭った人が安心して相談できるよう、各種相談電話を設置しています。気軽にご相談ください。

◇犯罪被害給付制度

この制度は、通り魔殺人のような故意の犯罪行為により、不慮の死を遂げた人の遺族や重症病を負ったりした被害者などに対して、国が犯罪被害者等給付金を支給し、その精神的、経済的苦痛を少しでも和らげようとするものです。

【問い合わせ】

宮城県警察本部警務課
犯罪被害者支援室

☎ 022 (221) 7171

佐沼警察署警務課

☎ 0220 (22) 2121

登米警察署警務課

☎ 0220 (52) 2121

相談電話番号一覧

性犯罪相談電話	022 (221) 7198
いじめ110番	022 (221) 7867
少年相談電話	022 (222) 4970
環境犯罪・悪質商法相談電話	022 (261) 1110
銃器・覚せい剤110番	022 (266) 1074
暴力団相談電話	022 (222) 8930
暴走族110番	022 (266) 0110
警察総合電話相談	022 (266) 9110
・プッシュ回線	#9110
・ファクシミリ	022 (227) 4110

第5回川東にぎわい市 フリーマーケット 出店者募集

フリーマーケットと商店会の会員が目玉商品などを出して販売を行います。

【日時】 11月12日（日）

午前10時～午後4時

【場所】 東中央通り商店会
（佐沼高校前通り）

【開催方法】 出店者が自由に商品の販売やサービスを行う。

【募集店数】 10店（10ブース）

※1ブース=約1.8m×2.7m（1.5坪）

【参加費】 1ブース1,000円

【搬入】 当日午前9時30分まで

【搬出】 当日午後4時以降

【応募方法】 申込書に必要事項を記入の上、参加費を添えて申し込みください。

【申込期限】 11月5日（日）

※募集店数になり次第締め切り

【その他】 ①取り引きは、各自の責任で行ってください。②荒天で中止の場合は、参加費を返却します。

【申し込み・問い合わせ】

東中央通り商店会

会長 小山裕吉（浜寿司）

☎ 0220（22）2446

迫養護学校「迫養祭」

演技発表などがあります。

【日時】 11月18日（土）

午前9時45分～午後2時15分

【場所】 県立迫養護学校

【内容】 演技発表、作品展示、プラネタリウムの上映、バザーなど

【問い合わせ】 県立迫養護学校

☎ 0220（22）9484

白鳥スマイルキッズデー 参加者募集

親子で体験保育ができます。

また、専任保育士が育児相談にも

応じます。

【対象者】 乳児～就学前の児童

【内容】 鑑賞会（人形劇など）

【日時】 11月16日（木）

午前9時30分～11時

【場所】 白鳥保育園（南方町）

【申し込み・問い合わせ】

白鳥保育園

☎ 0220（58）2681

※随時、受け付けします。

子ども太鼓教室 受講生募集

【対象者】 小学3年生～中学生

【教室開催日時】 11月22日（水）、29

日（水）、12月6日（水）、13日

（水）、20日（水）、22日（金）

午後7時～8時30分

※12月24日（日）に発表会を行います

【場所】 中津山公民館

【受講料】 1,500円（バチ代として）

【募集人員】 30人程度

【申込方法】 電話またはファクシミリで申し込みください。ファクシミリの場合は、住所、氏名、学校名、学年、電話番号を記入の上、子ども太鼓教室参加希望と明記してください。

【申込期限】 11月17日（金）

【申し込み・問い合わせ】

米山丸山太鼓 事務局：久保

☎ 090（5848）9241

FAX 0220（55）2152

経営セミナー聴講者募集 ～生活習慣病予防と食生活～

家族の健康を考えるセミナーを開催します。ぜひご聴講ください。

【日時】 11月22日（水）

午後1時30分～3時30分

【場所】 ホテルニューグランヴィア（迫町）

【講師】 井上正子さん（医学博士、管理栄養士）

【受講料】 無料

【募集人員】 50人（先着順）

【申込方法】 電話で申し込みください。

【申込期限】 11月16日（木）

【申し込み・問い合わせ】

（社）登米法人会

☎ 0220（22）6617

レクダンス・サークル 発表会

市内で活動しているレクダンス・サークルの発表会を行います。

どなたでも見学できます。

【日時】 11月25日（土）

午後1時～3時30分

【場所】 登米祝祭劇場 大ホール

【入場料】 無料

【問い合わせ】

登米市レクダンス・サークル

代表：高橋正子

☎ 0220（22）2721

劇団どんちょうの会公演 「うたよみざる」

純真無垢な少女と山に住む猿の物語です。

【日時】

11月24日（金） 午後7時30分～

11月25日（土） 午後1時30分～
午後7時～

※開場は開演の20分前です

【場所】 中田農村環境改善センター

【料金】 前売り：大人1,000円、小学生以下700円（当日券は大人のみ200円増し）

【問い合わせ】 劇団事務局（三浦方）

☎ 0220（34）2338

社会保険相談所開設

健康保険、国民年金など社会保険全般について相談に応じます。

【11月の開設日】 11月15日（水）

【時間】 午前9時10分～正午
午後1時～3時30分

【場所】 迫公民館

【問い合わせ】

古川社会保険事務所

☎ 0229（23）1200

国民年金だより

年金受給者の「現況届」が不要になります

これまで年金を受けている人の現況確認として、年に1回「現況届」を提出することになっていましたが、年金受給者の負担軽減のため、今後は住民基本台帳ネットワークシステムを活用して現況確認を行うこととなります。これにより、12月生まれの人から順次、現況届の提出が原則不要になります。
◆加給年金額対象者の生計維持確認や診断書などの提出は、引き続き必要となります

- ①加給年金額を受けられるかどうかの生計維持の確認が必要な人については、社会保険庁から送付される「生計維持確認届」の提出が必要となります。
※「生計維持確認届」の提出がない場合は、加給年金額のみ支払いが一時止まります。
- ②障害の程度を確認する必要がある人については、社会保険庁から送付する診断書の提出が必要となります。
※診断書の提出がない場合は、年金の支払いが一時止まります。

【相談用電話番号】 **年金ダイヤル 0570 (07) 1165**

国民年金保険料の控除証明書が郵送されます

国民年金保険料は全額、社会保険料控除の対象になります。市民税など申告の際には、1年間に納付した国民年金保険料を証明する書類を、添付することが義務付けられています。

このため、生命保険会社などから送付される控除証明書と同様に、1年間に納付した国民年金保険料の額を証明した控除証明書（はがき）が、社会保険庁から11月上旬に送付されます（10月以降に本年初めて保険料を納付する人については、翌年2月初旬に同様の証明書が送付されます）。

年末調整または確定申告の手続きの際は、必ずこの証明書や領収証書が必要となりますので、申告を行うまで大切に保管してください。

問い合わせは、社会保険庁から送付される「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」に記載されている問い合わせ先をご覧ください。

【問い合わせ】 市民生活部市民課 ☎ 0220 (58) 2118
古川社会保険事務所 ☎ 0229 (23) 1200

第15回なかだ音楽祭

中田町内の音楽愛好家が一堂に会し、発表会を開催します。

【日時】 11月19日（日）
午前10時～午後4時

【場所】 中田農村環境改善センター

【入場料】 無料

【問い合わせ】 教育委員会中田事務所
☎ 0220 (34) 2080

11月8日は「いい歯デー」

◆歯科健康テレホン相談

電話で相談の概略をお聞きし、3日以内に歯科医師が直接、相談者に電話でお答えします。

【日時】 11月8日（水）
午前10時～午後4時

【電話番号】 県保険医協会内
☎ 022 (265) 1667

【問い合わせ】 県保険医協会
☎ 022 (265) 1667

暮らしの 情報

津山町南沢の紅葉狩り

深まりゆく秋の一日を南沢の紅葉狩りで楽しんでみませんか？きのこ汁や新米おにぎりの試食もあります。

【日時】 11月5日（日）

午前10時～午後3時

【場所】 寺倉ライスセンター

【問い合わせ】

県登米農業改良普及センター

☎ 0220 (22) 6127

津山総合支所地域生活課

産業建設係

☎ 0225 (68) 3112

栗原市・登米市 くりこま高原駅菊花展

三本仕立、福助、多輪咲きなどの菊花、約700点を展示します。

【期間】 11月7日（火）～13日（月）

午前8時30分～午後4時30分

【場所】 くりこま高原駅構内外ほか

【観覧料】 無料

【問い合わせ】 栗原市志波姫公民館

☎ 0228 (25) 3231

個人事業税の 納付について

11月は平成18年度個人事業税の第2期分の納期限です。

【納期限】 11月30日（木）

【問い合わせ】

県登米県税事務所 納税班

☎ 0220 (22) 6111 内線281

平成19年度 保育所（園）入所児募集

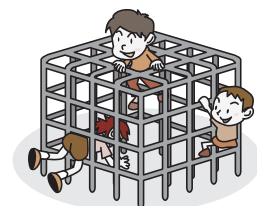
【受付期間】 12月1日（金）～12月28日（木）

日曜、祝日を除く月曜日から土曜日までの午前8時30分から午後5時15分まで

【受付場所】 各総合支所市民福祉課 市民福祉係

【入所基準】

- ①家庭外労働により、お子さんの保育ができない場合
- ②家庭内労働（家業や内職など家事以外の仕事）によりお子さんの保育ができない場合
- ③死亡、行方不明などの理由により親がいない場合
- ④出産後、病気などでお子さんの保育ができない場合
- ⑤家庭に長期にわたる病人や心身に障害のある人がいるため、その看護でお子さんの保育ができない場合
- ⑥火災や天災などの不幸があり、家屋を失ったり破損したりしたため、その復旧の間お子さんの保育ができない場合
- ⑦市長が認める前各号に類する状態にある場合



【申し込みに必要な書類】（用紙は、各総合支所市民福祉課に備え付けてあります）

- ①保育所入所申込書
- ②両親の就労（見込み）証明書
- ③家族調書
- ④平成18年1月1日現在で、登米市内に住所を有していなかった人については、前住地の市区町村が発行する平成18年度市町村民税の課税証明書
- ⑤保護者が病人または障害者を看護している場合、それが確認できる書類
- ⑥就労以外の理由で保育を必要とする場合、それを証する書類（窓口で問い合わせください）

【申し込み後に必要な書類】 両親の平成18年分の所得税を証明できる書類（源泉徴収票、申告書の写しなど）

※両親の所得が低いときは、祖父母の所得も加算される場合があります。

【入所の決定】 家庭状況を調査し、2月上旬ころに郵送などで通知します。

※第1希望の保育所（園）申込者数とその保育所（園）の定員を超える場合には、第2、第3希望の保育所（園）に入所してもらう場合がありますので、ご了承ください。

◆募集保育所（園）名・対象・問い合わせ

【市立】

保育所（園）名	所在地	定員	問い合わせ
迫中江保育所	迫町佐沼字中江1-4-2	90人	0220 (22) 7642
迫新田保育所	迫町新田字狼ノ欠28-5	30人	0220 (28) 2070
登米保育所	登米町大字日根牛浦小路4	60人	0220 (52) 2330
米谷保育所	東和町米谷字石橋26-1	45人	0220 (42) 2101
中田保育所	中田町上沼字大柳116	90人	0220 (34) 2050
豊里保育園	豊里町小口前98	120人	0225 (76) 4075
よねやま保育園	米山町西野字新古館廻56-3	75人	0220 (55) 3790
石越保育所	石越町南郷字高森275-4	60人	0228 (34) 2039

【私立認可】

保育所（園）名	所在地	定員	問い合わせ
佐沼保育園	迫町佐沼字南元丁99-2	90人	0220 (22) 3512
錦保育園	迫町佐沼字錦132-2	90人	0220 (22) 2647
北上保育園	登米町寺池道場14	90人	0220 (52) 3558
米川聖マリア保育園	東和町米川字町裏41-2	45人	0220 (45) 2054
錦織保育園	東和町錦織字雷神山22-22	45人	0220 (44) 3666
みどりご園	中田町宝江黒沼字新西野37-3	60人	0220 (34) 6677
南方保育所	南方町山成前1074-2	60人	0220 (58) 2238
白鳥保育園	南方町峯90-2	30人	0220 (58) 2681
杉の子保育所	津山町横山字本町39-6	30人	0225 (69) 2735



【問い合わせ】

福祉事務所子育て支援室

☎ 0220 (58) 5562

※保育内容については、直接保育所（園）に問い合わせください。

平成19年度 市立幼稚園の入園児募集

◆募集幼稚園名・対象・問い合わせ

幼稚園名	対 象	問い合わせ
佐 沼 幼 稚 園	4～5歳児	0220 (22) 2527
東佐沼幼稚園	4～5歳児	0220 (22) 3059
新田第一幼稚園	4～5歳児	0220 (28) 2222
新田第二幼稚園	4～5歳児	0220 (28) 3372
北 方 幼 稚 園	4～5歳児	0220 (22) 7635
森 幼 稚 園	4～5歳児	0220 (22) 5479
米 谷 幼 稚 園	5歳児	0220 (42) 2101
中 田 幼 稚 園	4～5歳児	0220 (34) 3524
豊 里 幼 稚 園	3～5歳児	0225 (76) 3323
米山東幼稚園	4～5歳児	0220 (55) 3367
米山西幼稚園	4～5歳児	0220 (55) 2612
石 越 幼 稚 園	3～5歳児	0228 (34) 3170
南 方 幼 稚 園	4～5歳児	0220 (58) 2218
西 郷 幼 稚 園	4～5歳児	0220 (58) 2015
東 郷 幼 稚 園	4～5歳児	0220 (58) 2649
つやま幼稚園	4～5歳児	0225 (68) 2029

【入園資格】

- ◇ 5歳児
(平成13年4月2日～平成14年4月1日生まれ)
- ◇ 4歳児
(平成14年4月2日～平成15年4月1日生まれ)
- ◇ 3歳児
(平成15年4月2日～平成16年4月1日生まれ)

【入園申込受付】

各幼稚園に直接申し込みください。
※申込用紙は各幼稚園にあります。

【申込期限】 11月22日(水)

【月額授業料】 4,000円(1世帯から2人以上入園する場合は、2人目以降半額)

【預かり保育】 中田幼稚園・南方幼稚園・西郷幼稚園・東郷幼稚園を除く幼稚園で実施します。随時受け付けています。月額3,500円

【問い合わせ】

教育委員会学校教育課 学事係

☎ 0220 (34) 2679

※詳細については各幼稚園にお問い合わせください。

学童クラブの入会者を募集します

【申込期間】

11月13日(月)～平成19年1月19日(金)
日曜、祝日を除く月曜日から土曜日までの午前9時から午後6時まで

【入会基準】 昼間、保護者が仕事、疾病、そのほかの理由により、適切な保護指導を受けられない市内の小学校に在籍する1年生から3年生までの児童(平成19年4月1日現在)

【使用料】 無料

【使用時間】

◆月曜日から金曜日までの放課後(午後6時30分まで)

◆土曜日と学校夏季休業日などは、午前7時30分から午後6時30分まで

【申込方法】 各児童館、センターにある入会申込書に必要事項を記入し提出してください。
※現在学童クラブに登録している児童も、改めて申請が必要です。

【入会の決定】 書類審査を行い、2月に郵送などにより通知します。

※申込者が定員を超えた場合は、入会ができない場合がありますのでご了承ください。

【募集定員・問い合わせ】

学 童 ク ラ ブ	定員	問い合わせ
迫児童館	30人	迫児童館 0220 (22) 2524
北方学童クラブ	20人	
登米児童館	25人	0220 (52) 2246
東和子育て支援センター(げんきっこクラブ米川)	15人	げんきっこクラブ米谷 0220 (42) 2230
東和子育て支援センター(げんきっこクラブ米谷)	15人	
東和子育て支援センター(げんきっこクラブ錦織)	15人	中田児童館 0220 (35) 2525
中田児童館	35人	
石森学童クラブ	20人	
上沼学童クラブ	20人	
宝江学童クラブ	20人	0225 (76) 4731 090 (7070) 5256
豊里学童クラブ	40人	
米山児童館	30人	0220 (55) 2313
石越子育て支援センター	20人	0228 (34) 3110
南方子育てサポートセンター	20人	0220 (58) 5558

石ノ森章太郎 ヒーロー作品展

11月3日は「まんがの日」、また、11月は「みやぎ教育月間」です。

それらにちなみ、石ノ森章太郎先生の漫画キャラクター（仮面ライダー、009、ロボコンなど）のヒーローをモデルとして、主に市内の小中学生が制作した絵画などを展示します。

【日時】 11月3日（祝）～19日（日）

午前9時30分～午後5時
※毎週月曜日休館

【場所】 石ノ森章太郎生家

【入場料】 無料

【問い合わせ】

石ノ森章太郎ふるさと記念館
☎ 0220 (35) 1099

誰にでもありうる心の病気

「精神保健入門講座」受講者募集

精神疾患、障害に対する誤解や偏見を取り除き、正しく理解してもらうため、精神保健入門講座を開催します。

今回は、特に「うつ病」に焦点を当てた研修を行います。
どなたでも参加できますので、気軽にご参加ください。

【プログラム】 4回シリーズ

回	開催日	内 容
1	11月28日 (火)	・開講式 ・講話「こころの病気を知ろう」 講師＝宮城県立精神医療センター 精神科医師 大野高志先生
2	12月12日 (火)	・精神保健福祉サービスのいろいろ ・グループワーク
3	1月10日 (水)	・講話「気持ちを大切に伝えよう」 講師＝仙台ロゴセラピー研究所 吉田香里先生
4	1月23日 (火)	・話し合い「わたしたちもこんなことができる」 ・閉講式（受講証を交付します）

【場所】

東和地域福祉センター

【時間】

午前10時～11時45分

【募集人員】 25人（先着順）

【申込方法】

11月10日（金）まで、電話で申し込みください。

【申し込み・問い合わせ】

東和総合支所市民福祉課
健康づくり係

☎ 0220 (53) 4112

市民生活部健康推進課
地域保健係

☎ 0220 (58) 2116

第1回登米市地産地消推進のつどい

～ 登米の食と農の豊かさ再発見 ～

米を主食にした伝統的な食文化の維持と、新鮮で信頼できる地場農産物の生産や流通体制の確立に向けた取り組みを進めるため、生産者から流通関係者、消費者までを対象とした「食」と「農」における今後の方向性を探る「第1回登米市地産地消推進のつどい」を開催します。

日 時 11月18日（土） 午後1時30分～4時30分

場 所 サンシャイン佐沼



◇基調講演 午後1時40分～

【演題】 「食と農の現場からネットワークの形成を」

【講師】 三野耕治さん（千葉県在住）

●みの・こうじ＝1950年香川県生まれ。京都大学経済学部卒業後、農林水産省、農林水産技術会議事務局研究総務官、北海道開発局次長を務めた。現在は、食農わくわくねっとわーく北海道相談役や中国四国食農交流ネットワーク顧問、北海道先端農業技術研究会顧問として活躍中。

◇事例発表 午後2時50分～

▶生産者の顔が見え新鮮で安全・安心な食材を身近なところで求めたい

登米地区農村生活研究グループ連絡協議会副会長
佐藤光子さん（南方町）

▶消費者の顔が見える取り組みが楽しい

しいたけ生産者 高橋龍一さん（迫町）

▶新鮮で安全・安心な地域の農産物をそろえることが求められている

元みやぎ生協副理事長 芳賀裕子さん（気仙沼市）

◇試食会 午後3時45分～

▶食の技（今年が目玉は、登米市産牛肉料理）

▶うまいもん（郷土料理など）

▶米粉を使った菓子類

【募集人数】 150人

【入場料】 無料

【申込方法】 整理券が必要です。入場を希望する人は、各総合支所地域生活課で整理券を受け取ってください。整理券が無くなり次第終了とさせていただきます。

【問い合わせ】

産業経済部農産園芸課（地産地消推進協議会事務局）

☎ 0220 (34) 2713 FAX 0220 (34) 2801

平成19年版みやぎ手帳 予約受け付け中

【内容】 月間予定表と日記、最新統計資料、仕事・生活に役立つ資料

【価格】 500円

【申込方法】 電話またはファクシミリで申し込みください。ファクシ

ミリの場合は、氏名、住所、電話番号、行政区、申し込み冊数、受け取り場所を記入の上、みやぎ手帳予約希望と明記してください。

【申込期限】 11月24日（金）

【受取方法】 12月6日（水）から企画調整課（市役所迫庁舎内）または各総合支所地域生活課で代金と

交換で配布します。

【申し込み・問い合わせ】

企画部企画調整課 統計係

☎ 0220 (22) 2147

FAX 0220 (22) 9164

各総合支所地域生活課 地域係

11月の「どこでも市長室」 日程変更のお知らせ

10月20日発行の市政だよりで、11月のどこでも市長室への参加団体を募集していましたが、南方会場の日程を変更します。

【日時】 変更前＝11月9日（木）午前
変更後＝11月10日（金）午前

※詳しい時間は申し込みの際に確認してください。

【場所】 南方総合支所2階 応接室
※場所の変更はありません

【参加申し込み・問い合わせ】

総務部総務課 広報係

☎ 0220 (22) 2090

FAX 0220 (22) 9164

✉ koho@city.tome.miyagi.jp

第2回 登米市民俗芸能大会

法印神楽・南部神楽・田植踊など市内の民俗芸能15団体が出演します。

【日時】 11月26日（日） 午前9時～午後4時

【場所】 東和勤労青少年ホーム 多目的ホール

【入場料】 無料

【出演予定団体】 ▶浅部法印神楽▶上沼法印神楽▶上町法印神楽▶加賀野神楽▶本宮神楽▶浅部七福神舞▶長谷山甚句▶飯土井神楽▶細野神楽▶嵯峨立神楽▶綱木田植踊▶畑岡神楽▶粟ヶ崎神楽▶赤谷神楽▶芦倉獅子舞

【問い合わせ】 教育委員会生涯学習課 文化振興・文化財保護係

☎ 0220 (34) 2698



細野神楽

11月9日～15日まで**秋季全国火災予防運動**を実施します 「消さないで あなたの心の 注意の火。」

《防火対策スリーポイント》

①住宅防火対策

- ・既存住宅などへの住宅用火災警報器の早期設置
- ・暖房器具などの事前点検と安全な灯油用容器の使用

②震災時における出火など防止対策

- ・自主防災組織と連携した家庭や地域の防火安全対策
- ・家具類の転倒や落下による人的被害と出火防止対策

③生活環境など周囲における火災予防対策

- ・たき火などにおける消火の準備など、防火対策の徹底
- ・放火予防のための住宅など周辺における可燃物の整理と外灯などの設置

“市民が環^わになって、火災をなくしましょう”

《市民防火笑顔のキーワード》

- ①安全・安心な地域づくりは ～ 家庭防火の話から！
- ②尊い命と財産を守ることは ～ 市民の顔の和から！
- ③住宅火災0の願いは ～ 市民防火の輪から！

火災は、財産だけでなく、尊い人の命まで奪うことがあります。火の取り扱いには十分注意して、火災のない安全・安心な登米市にしましょう。

11月1日

消防署北出張所 移転のお知らせ

県道中田・栗駒線の拡幅工事に伴い、北出張所用地の一部買収が発生したために、今年5月から石越総合支所敷地内に建築工事を進めていた庁舎が、この程完成しました。新庁舎での業務は、11月1日から開始します。

【庁舎の概要】

- 新住所 石越町南郷字愛宕81番地
☎・FAX 0228 (34) 2119
- 構造 木造一部鉄骨造平屋建
- 床面積 189.73㎡
- 事業費 27,739千円



◀石越総合支所敷地内に移転新築した北出張所

住民参加型 市場公募 地方債（5年債）の発行

市では、宮城県、栗原市、加美町と共同で地域住民向けの市場公募地方債を発行します。

市場公募地方債は、公共施設の整備に充てるため40億円を共同発行し、そのうち3億円は登米市消防防災センターの整備に充てる財源となります。

県内に居住・勤務している個人や事業所のある法人であれば、どなたでも購入できます。

【名称】 平成18年度第1回宮城県市町村共同発行公募公債

【購入申込期間】

11月16日（木）～22日（水）

※申し込み総額が40億円に達した時点で締め切り

【発行条件】

- ①利率＝固定金利で5年国債利回りを参考に11月14日に決定
- ②発行価格＝額面100円につき100円
- ③発行日＝11月28日（火）
- ④償還年限＝5年、平成23年11月28日に元金を一括償還
- ⑤利払日＝毎年5月28日と11月28日（年2回）
- ⑥購入限度額＝1人当たり1万円単位で200万円まで

【取扱金融機関】 七十七銀行と仙台銀行の県内店舗窓口で先着順に販売

【購入時に必要なもの】 購入代金、印鑑、本人を確認できる書類（運転免許証など）

※すでに購入先銀行店舗の通帳を持っている人は通帳

※法人の場合は商業登記簿謄本など

※マル優・特別マル優制度を利用する人は確認書類（年金手帳など）

【問い合わせ】

企画部財政課 財政二係

☎ 0220 (22) 2159

七十七銀行、仙台銀行の県内店舗窓口

迫図書館 11月のおはなし会

絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなどをします。

【日時】 11月4日（土）、18日（土）
午前10時30分～

【場所】 迫図書館 2階研修室

【問い合わせ】 迫図書館
☎ 0220 (22) 9820

消費生活出前相談

各総合支所で、消費生活についての相談や苦情を聞き、解決するための手伝いをします。

【11月の相談日】

開催日	開催場所
6日（月）	迫総合支所
9日（木）	南方総合支所
13日（月）	登米総合支所
16日（木）	東和総合支所
20日（月）	豊里総合支所
24日（金）	米山総合支所
27日（月）	石越総合支所
30日（木）	津山総合支所

【時間】 午前10時～午後3時

【相談料】 無料

※相談日以外は、商工観光課で2人の相談員が応じています。

【問い合わせ】

産業経済部商工観光課 商工振興係

☎ 0220 (34) 2734

犬・猫引き取り日

◆11月9日（木）

（登米・豊里・米山・南方・津山）

◆11月30日（木）

（迫・東和・中田・石越）

※受け付けは午前9時30分まで

【持ってくるもの】

印鑑、鑑札（犬の場合）

【受け付け・問い合わせ】

各総合支所地域生活課 地域係

お知らせの 問い合わせ先

登米市役所	☎0220 (22) 2111
迫総合支所	☎0220 (22) 2213
登米総合支所	☎0220 (52) 2111
東和総合支所	☎0220 (53) 4111
中田総合支所	☎0220 (34) 2311
豊里総合支所	☎0225 (76) 4111
米山総合支所	☎0220 (55) 2111
石越総合支所	☎0228 (34) 2111
南方総合支所	☎0220 (58) 2111
津山総合支所	☎0225 (68) 3111

11月の納税

固定資産税 4期
国民健康保険税 6期

納期限 11月30日（木）

忘れずに納めましょう

※口座振替の人は、通帳の残高を確認してください。

11月の夜間相談窓口開設日

【日時】 11月30日（木）
午後8時まで

【場所】 市役所迫庁舎1階
総務部 徴収対策課

登米市のデータ

人口・世帯数
（平成18年9月末現在）

地区	世帯数	人口		
		男	女	計
迫	7,165	10,791	11,495	22,286
登米	1,837	2,721	3,038	5,759
東和	2,577	3,959	4,126	8,085
中田	4,573	8,099	8,601	16,700
豊里	1,988	3,491	3,658	7,149
米山	2,859	5,298	5,536	10,834
石越	1,600	2,903	3,017	5,920
南方	2,481	4,495	4,807	9,302
津山	1,225	1,994	2,117	4,111
合計	26,305	43,751	46,395	90,146

市からの お知らせ

市営住宅入居者募集

◆津山宮町住宅

(津山町柳津字黄牛田高畑22番地1)

募集戸数 1戸 (3K)

家賃月額 10,500円～17,400円

【申し込み】 津山総合支所
地域生活課 産業建設係

【募集対象者】

現に住宅に困っている世帯

【入居資格】

①入居収入基準が20万円未満であること(世帯全員の合計所得額より算出します)。

②同居する親族がいること(婚姻予定も可)。

※原則として単身での入居はできませんが、50歳以上の人、身体障害者手帳1級から4級までを所持している人は単身入居することができます。

③入居者全員に市税の滞納がないこと。

【申込期限】 11月15日(水)期限厳守

【問い合わせ】

建設部建築課 住宅管理係

☎ 0220 (34) 2316

トレーニングルーム 利用者講習会

11月24日(金) 午後7時～
定員50名(要予約)

【受付開始】 11月7日(火)

【問い合わせ】 なかだアリーナ

☎ 0220 (34) 7302

迫体育館アリーナ 利用休止のお知らせ

迫体育館の屋根工事に伴い、アリーナ部分を下記の期間休止とさせていただきます。

利用者の皆さんには大変な不自由をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

【利用休止期間】 11月1日(水)～
平成19年1月31日(水)

【利用休止箇所】 迫体育館アリーナ
(卓球室を除く)

【問い合わせ】 迫体育館

☎ 0220 (22) 2323

戦没者などの遺族に 対する特別弔慰金の 請求はお済みですか

特別弔慰金は、先の大戦で公務などのため国に殉じた「もとの軍人な

ど」の戦没者などの遺族で、公務扶助料、遺族年金などの受給者がいない場合に支給されるものです。

平成17年4月1日から各総合支所の窓口で受け付けを開始していますので、特別弔慰金の支給対象者で、まだ請求をしていない遺族の人は、請求期限が平成20年3月31日までとなっています。

それまでに請求がないと受給できなくなりますので、ご注意ください。

【支給内容】 額面40万円、10年償還の記名国債

【請求期限】 平成20年3月31日

【請求窓口】 各総合支所市民福祉課
市民福祉係

【問い合わせ】

福祉事務所生活福祉課

☎ 0220 (58) 5552

各総合支所市民福祉課

県社会福祉課援護給班

☎ 022 (211) 2563

農振除外申請の最終受け付けは 平成19年2月末

農用地を宅地などに利用しようとする場合、その土地が農振農用地に指定されている場合は、農振除外申請が必要です。

農振除外の申請については、「登米農業振興地域整備計画」を、平成19年度策定予定としていることから、その受け付けを平成18年11月末、平成19年2月末(最終受け付け)の2回としています。

平成19年度中の除外申請の受け付けは、計画策定に伴う関係機関との調整や意見聴取などのためできません。その後の申請受け付け開始は、平成20年4月からとなります。

申請を予定している人は早めに各総合支所地域生活課へ申し出ください。

◆農用地利用計画変更の申し出(農振除外申請、軽微な変更*)には下記の書類が必要です。

*農振農用地を農業用施設用地(畜舎、堆肥舎、農機具置き場などに利用)に変更すること

①農用地利用計画変更申出書

②案内図(住宅地図など)申請地の場所を確認できるもの

③公図の写し

④事業計画書(申請地をどのように利用するか縮小図に書く)

⑤土地登記事項証明書

⑥委任状(代理人申請の場合)

【申請先・問い合わせ】

産業経済部農林振興課 農地調整係 ☎ 0220 (34) 2716

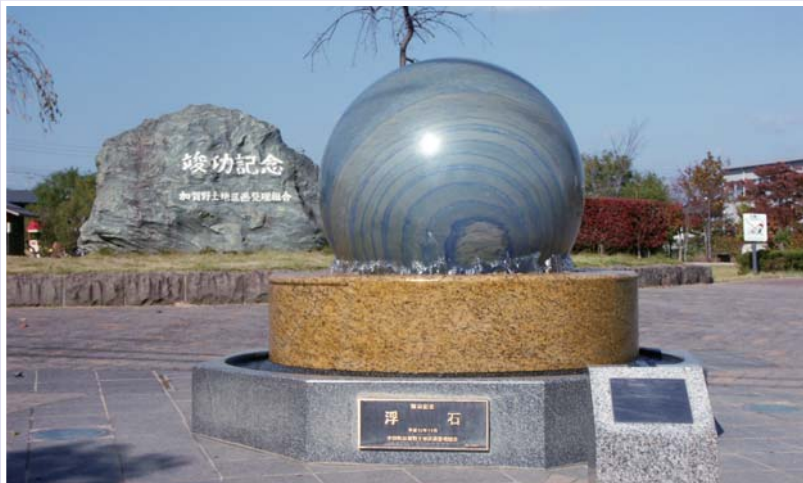
各総合支所地域生活課 産業建設係

ふるさと訪ねある記 20

「かがの公園の浮石」

中岡町加賀野地区にある「かがの公園」には、重さ1・9トもの石の玉が浮き上がった回転する、世界でも珍しい不思議なモニュメント「浮石」があります。

この浮石は、パスカルの原理を用いたもので、浮き上がった回転する石球（重さ1・9ト／直径1, 11ミリ）と石円盤（重さ1・1ト／直径1, 510ミリ）とを組み合



「かがの公園の浮石」

所在地：登米市中岡町石森字加賀野一丁目65番地
問い合わせ：建設部都市計画課 ☎0220 (34) 2446

この不思議な浮石の謎を解きに、「かがの公園」に足を運んで実際に触れてみてはいかがでしょう。

小さな子ども力でも、簡単に回転の方向を変えることができる不思議な石球です。

わせ、水を使って浮いています。石はブラジル原産の青色系の御影石で、同種の石の球体としては世界最大級のものといわれていますが、



加賀野地区の住宅街に囲まれ、休日になると家族連れでにぎわう「かがの公園」

18ホール完備 米山町桜岡「豊愛の里」に10月からパークゴルフ場OPEN



ゴルフ場は全18ホールあり子どもから大人まで楽しむことができます



ゴルフ場入口にあるセサナとゴリラのオブジェが目印

米山町桜岡の「豊愛の里」に、市内では民間初のパークゴルフ場が10月1日からオープンしました。ゴルフ場は全18ホール、全長975mで、美しい緑に囲まれた本格的なコース。年中無休で1年を通して子どもから大人まで楽しめます。敷地内には、岩盤浴「米山岩薬癒」や本格手打ちそば「竹庵」も併設されています。家族や仲間と気持ちのいい汗を流してみませんか。

豊愛の里 米山パークゴルフ場

【場所】

登米市米山町桜岡字大又37番地 ☎0220(55)5679
※県道21号沿い、吉田公民館から車で1分

【営業時間】

午前7時30分から午後5時まで
※年中無休

【料金】

○一般700円○小学生以下200円○貸しクラブ300円・貸しボール100円○年会費2,000円○会員500円
※毎週月曜日女性半額

編集室から
▼週末はイベントが盛りだくさんの登米市。先日行われた「左沼秋のフリーマーケット」には、身動きがとれないほどの人が集まり、大盛況に終わりました。いろいろなお取材に行き感じること、商店街や地域の人たちが自ら企画運営するイベントには、たくさんの人たちが引き寄せられるということ。毎回皆さんのパワーや元気に感心させられています。(平井)

歴史博物館

広報ミニ展示室⑦

= 広報紙と地域の歴史 =



昭和30年代の広報紙

「アーカイブズ」という言葉を知っていますか。これは、文書を歴史資料・文化資料として保存・管理・閲覧できる「文書館」や「公文書館」をいいます。行政文書や地図など、当時の様子を記録した文書が保管の対象となります。皆さんが身近で読んでいた広報紙。最初は公民館だよりとしてスタートした地区が多かったようですが、昭和30年代から40年代にかけて、各町の出来事などをお知らせする「広報紙」として発行されるようになりました。現在は当時の生活を知る貴重な資料となっています。